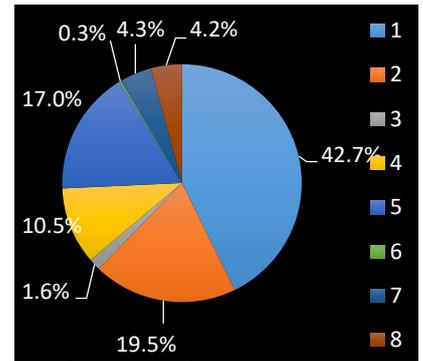


北海道

2022年度 61PJ 対前年度比 101.2%

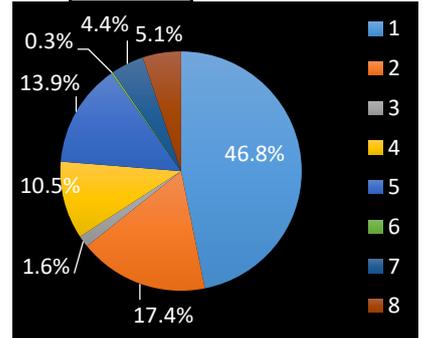


再生可能エネルギー供給状況

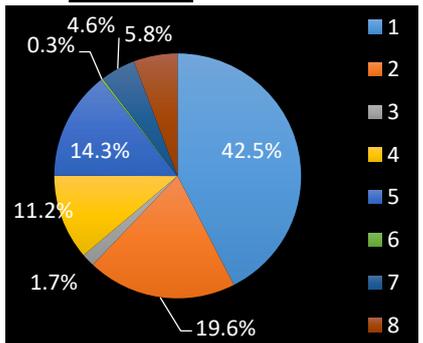
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 60PJ 対前年度比 108.0%



2020年度 55PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26PJ	15	37	46	42.7%
○ 2 風力発電	12PJ	3	11	24	19.5%
○ 3 地熱発電	1PJ	5	6	7	1.6%
○ 4 小水力発電	6PJ	7	27	40	10.5%
○ 5 バイオマス発電	10PJ	1	15	43	17.0%
6 太陽熱利用	0PJ	40	47	47	0.3%
7 地熱利用	3PJ	2	10	28	4.3%
8.バイオマス熱利用	3PJ	10	31	45	4.2%
合計(供給量)	61PJ	2			
再生可能エネルギー自給率			16.3%	再エネ自給率ランク 37	
食料自給率			206.9%	食料自給率ランク 1	
供給密度(TJ/km ²)			0.772	供給密度ランク 47	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				370PJ	
区域面積				78,358km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	寿都郡寿都町	456.3%	1	寿都郡寿都町	10.8	☆1	斜里郡小清水町	6577.1%
☆2	勇払郡安平町	275.9%	2	江別市	9.8	☆2	河西郡更別村	6092.5%
☆3	天塩郡幌延町	253.7%	3	勇払郡安平町	7.5	☆3	斜里郡清里町	5850.1%
☆4	有珠郡壮瞥町	249.1%	4	檜山郡江差町	7.0	☆4	網走郡大空町	4551.5%
☆5	久遠郡せたな町	230.3%	5	室蘭市	6.2	☆5	河東郡士幌町	3850.5%
☆6	松前郡松前町	221.9%	6	苫小牧市	6.2	☆6	中川郡豊頃町	3240.1%
☆7	檜山郡上ノ国町	207.8%	7	釧路郡釧路町	5.3	☆7	河西郡中札内村	3087.3%
☆8	磯谷郡蘭越町	196.8%	8	天塩郡幌延町	4.5	☆8	十勝郡浦幌町	2813.3%
☆9	苫前郡苫前町	192.1%	9	小樽市	4.1	☆9	石狩郡新篠津村	2748.0%
☆10	白糠郡白糠町	173.7%	10	虻田郡二七〇町	4.0	☆10	斜里郡斜里町	2621.2%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

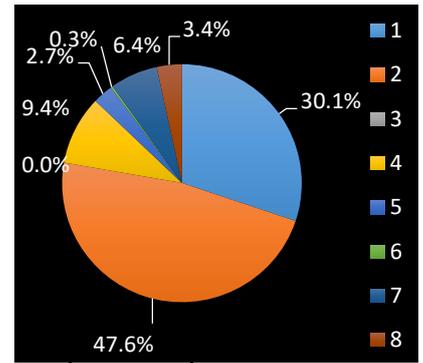
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

2022年度 **33PJ** 対前年度比 115.0%



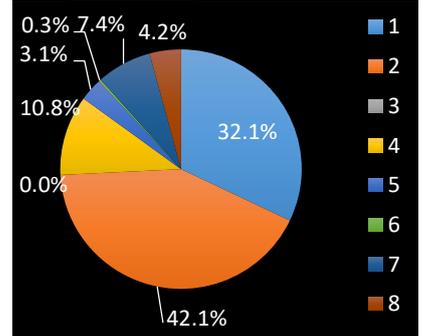
再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

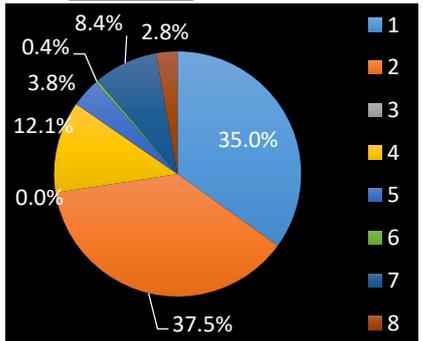
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	34	32	38	30.1%
◎ 2 風力発電	16PJ	2	2	1	47.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	3PJ	18	20	25	9.4%
5 バイオマス発電	1PJ	38	42	46	2.7%
6 太陽熱利用	0PJ	45	46	44	0.3%
7 地熱利用	2PJ	3	2	2	6.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	24	21	30	3.4%
合計(供給量)	33PJ	21			
再生可能エネルギー自給率			37.7%	再エネ自給率ランク	14
食料自給率			105.3%	食料自給率ランク	4
供給密度(TJ/km ²)			3.402	供給密度ランク	33
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				87PJ	
区域面積				9,646km ²	

2021年度 **29PJ** 対前年度比 112.2%



2020年度 **25PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	上北郡六ヶ所村	454.8%	1	つがる市	14.7	☆1	東津軽郡蓬田村	652.2%
☆2	下北郡東通村	429.1%	2	八戸市	6.0	☆2	つがる市	537.3%
☆3	三戸郡新郷村	287.5%	3	三沢市	5.4	☆3	北津軽郡中泊町	432.8%
☆4	上北郡横浜町	281.5%	4	五所川原市	3.1	☆4	北津軽郡鶴田町	343.4%
☆5	西津軽郡深浦町	251.4%	5	西津軽郡深浦町	3.1	☆5	北津軽郡板柳町	317.9%
☆6	上北郡野辺地町	229.4%	6	南津軽郡田舎館村	3.1	☆6	東津軽郡平内町	308.2%
☆7	上北郡七戸町	218.4%	7	青森市	2.9	☆7	三戸郡新郷村	295.0%
☆8	つがる市	185.2%	8	平川市	2.4	☆8	南津軽郡田舎館村	286.0%
☆9	下北郡大間町	141.9%	9	南津軽郡藤崎町	2.2	☆9	西津軽郡鯉ヶ沢町	255.2%
☆10	上北郡六戸町	108.1%	10	十和田市	1.9	☆10	南津軽郡藤崎町	255.0%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

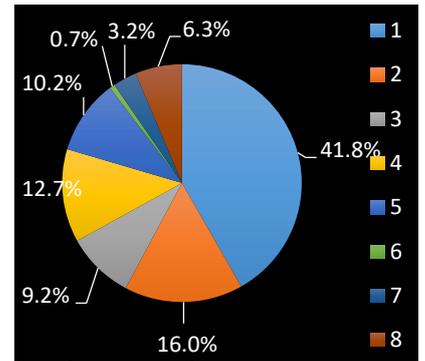
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

2022年度 31PJ 対前年度比 109.3%

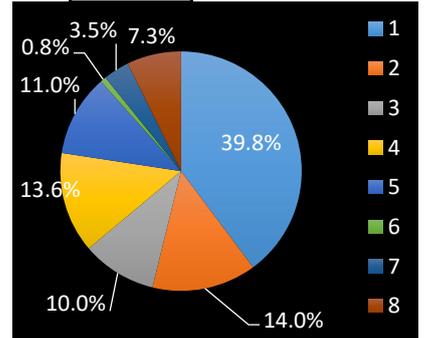


再生可能エネルギー供給状況

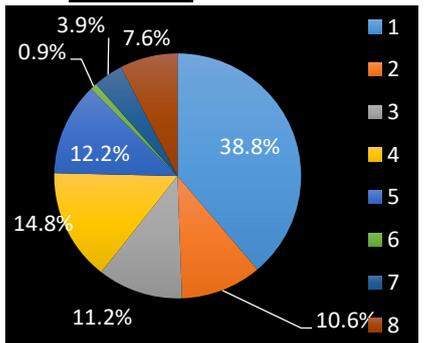
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 28PJ 対前年度比 111.5%



2020年度 25PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	25	22	41	41.8%
○ 2 風力発電	5PJ	4	3	11	16.0%
○ 3 地熱発電	3PJ	4	3	4	9.2%
○ 4 小水力発電	4PJ	11	12	29	12.7%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	16	7	35	10.2%
6 太陽熱利用	0PJ	38	35	43	0.7%
7 地熱利用	1PJ	8	5	16	3.2%
8.バイオマス熱利用	2PJ	15	7	28	6.3%
合計(供給量)	31PJ	24			
再生可能エネルギー自給率			40.5%	再生可能エネルギー自給率ランク	12
食料自給率			94.5%	食料自給率ランク	6
供給密度(TJ/km ²)			2,010	供給密度ランク	42
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			76PJ		
区域面積			15,275km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	岩手郡葛巻町	552.2%	1	九戸郡野田村	10.6	☆1	胆沢郡金ヶ崎町	296.2%
☆2	九戸郡野田村	401.8%	2	九戸郡軽米町	7.5	☆2	和賀郡西和賀町	260.8%
☆3	九戸郡軽米町	347.2%	3	紫波郡矢巾町	6.3	☆3	岩手郡雫石町	254.7%
☆4	二戸郡一戸町	224.9%	4	二戸郡一戸町	5.2	☆4	下閉伊郡普代村	219.8%
☆5	岩手郡雫石町	203.7%	5	岩手郡雫石町	4.6	☆5	八幡平市	210.0%
☆6	八幡平市	133.6%	6	岩手郡葛巻町	4.4	☆6	岩手郡葛巻町	206.4%
☆7	九戸郡洋野町	126.9%	7	九戸郡洋野町	3.6	☆7	奥州市	177.2%
☆8	下閉伊郡岩泉町	110.6%	8	胆沢郡金ヶ崎町	3.2	☆8	紫波郡紫波町	176.9%
9	二戸市	78.7%	9	二戸市	3.1	☆9	二戸郡一戸町	173.5%
10	上閉伊郡大槌町	70.1%	10	盛岡市	2.9	☆10	西磐井郡平泉町	172.9%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

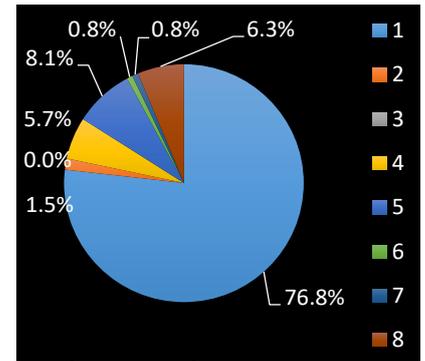
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

2022年度 34PJ 対前年度比 103.5%

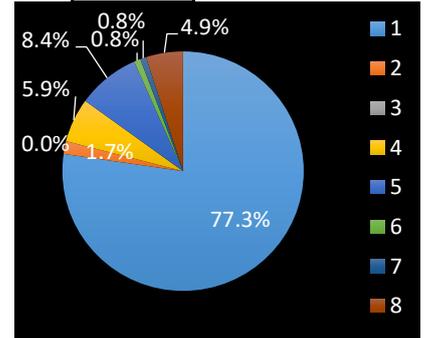


再生可能エネルギー供給状況

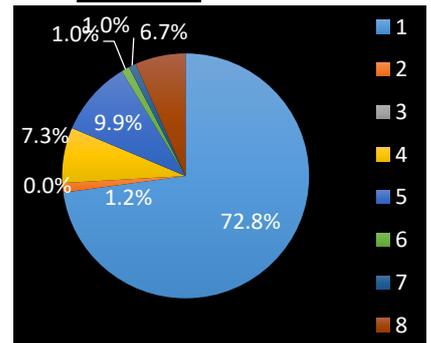
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 33PJ 対前年度比 123.8%



2020年度 26PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26PJ	14	16	17	76.8%
○ 2 風力発電	1PJ	28	25	29	1.5%
3 地熱発電	0PJ	11	12	11	0.0%
4 小水力発電	2PJ	26	28	28	5.7%
5 バイオマス発電	3PJ	18	19	19	8.1%
6 太陽熱利用	0PJ	36	38	37	0.8%
7 地熱利用	0PJ	22	26	25	0.8%
8.バイオマス熱利用	2PJ	12	10	13	6.3%
合計(供給量)	34PJ	20			
再生可能エネルギー自給率			27.7%	再エネ自給率ランク 25	
食料自給率			62.7%	食料自給率ランク 12	
供給密度(TJ/km ²)			4.649	供給密度ランク 21	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				122PJ	
区域面積				7,282km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ヶ宿町	573.7%	1	宮城郡松島町	15.2	☆1	加美郡色麻町	420.0%
☆2	黒川郡大郷町	312.1%	2	黒川郡大郷町	14.3	☆2	栗原市	285.5%
☆3	柴田郡川崎町	211.0%	3	塩竈市	13.8	☆3	登米市	282.0%
☆4	伊具郡丸森町	188.2%	4	亶理郡亶理町	13.1	☆4	遠田郡美里町	280.0%
☆5	宮城郡松島町	135.2%	5	岩沼市	11.6	☆5	牡鹿郡女川町	274.8%
☆6	刈田郡蔵王町	130.3%	6	多賀城市	11.1	☆6	加美郡加美町	256.2%
☆7	黒川郡大和町	109.9%	7	石巻市	8.6	☆7	黒川郡大郷町	241.6%
8	白石市	97.1%	8	仙台市	7.8	☆8	遠田郡涌谷町	236.1%
9	黒川郡大衡村	88.6%	9	黒川郡大和町	7.4	☆9	刈田郡七ヶ宿町	221.8%
10	遠田郡涌谷町	78.5%	10	名取市	7.3	☆10	黒川郡大衡村	188.9%

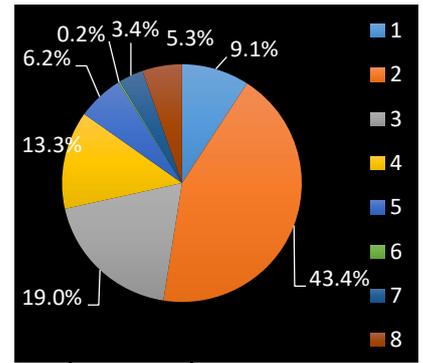
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

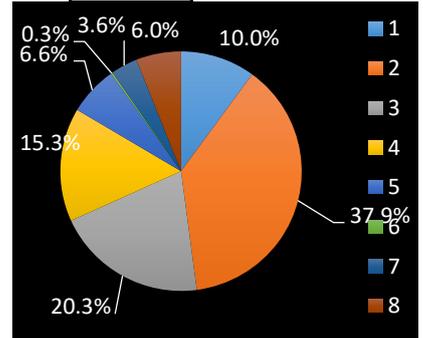
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

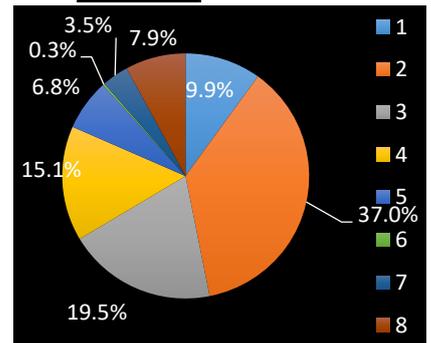
2022年度 **36PJ** 対前年度比 106.7%



2021年度 **34PJ** 対前年度比 103.5%



2020年度 **33PJ**



再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	3PJ	46	42	47	9.1%
◎ 2 風力発電	16PJ	1	1	2	43.4%
○ 3 地熱発電	7PJ	2	2	2	19.0%
○ 4 小水力発電	5PJ	9	4	19	13.3%
5 バイオマス発電	2PJ	24	10	37	6.2%
6 太陽熱利用	0PJ	46	42	46	0.2%
7 地熱利用	1PJ	6	3	10	3.4%
8.バイオマス熱利用	2PJ	16	3	24	5.3%
合計(供給量)	36PJ	17			
再生可能エネルギー自給率			58.3%	再生エネ自給率ランク 1	
食料自給率			177.2%	食料自給率ランク 2	
供給密度(TJ/km ²)			3.116	供給密度ランク 35	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				62PJ	
区域面積				11,616km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	鹿角市	249.4%	1	潟上市	23.4	☆1	南秋田郡大潟村	6365.2%
☆2	にかほ市	181.4%	2	にかほ市	9.5	☆2	仙北郡美郷町	489.3%
☆3	湯沢市	178.3%	3	男鹿市	8.6	☆3	山本郡三種町	444.4%
☆4	潟上市	176.7%	4	能代市	8.3	☆4	南秋田郡井川町	368.9%
☆5	山本郡八峰町	161.2%	5	鹿角市	6.5	☆5	山本郡八峰町	363.9%
☆6	雄勝郡東成瀬村	157.5%	6	秋田市	6.0	☆6	雄勝郡羽後町	322.5%
☆7	山本郡三種町	146.3%	7	湯沢市	5.6	☆7	大仙市	318.7%
☆8	由利本荘市	108.7%	8	山本郡三種町	4.7	☆8	横手市	284.5%
☆9	能代市	107.1%	9	由利本荘市	3.9	☆9	北秋田郡上小阿仁村	263.6%
10	男鹿市	99.8%	10	山本郡八峰町	2.7	☆10	山本郡藤里町	250.0%

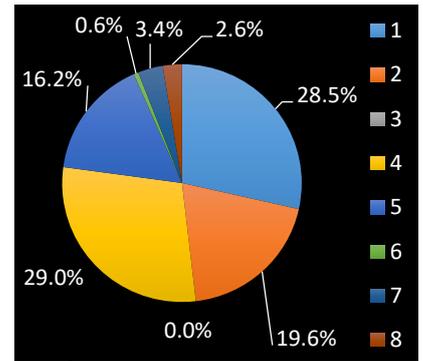
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山形県

2022年度 12PJ 対前年度比 102.7%



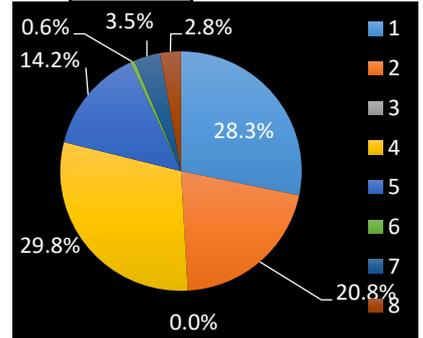
再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

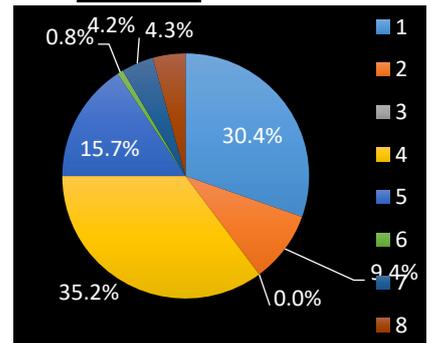
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3PJ	45	40	45	28.5%
○ 2 風力発電	2PJ	11	7	17	19.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	14	11	22	29.0%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	29	13	33	16.2%
6 太陽熱利用	0PJ	47	44	45	0.6%
7 地熱利用	0PJ	16	11	23	3.4%
8.バイオマス熱利用	0PJ	42	38	44	2.6%
合計(供給量)	12PJ	42			
再生可能エネルギー自給率			19.7%	再エネ自給率ランク	33
食料自給率			131.5%	食料自給率ランク	3
供給密度(TJ/km ²)			1.272	供給密度ランク	46
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			60PJ		
区域面積			9,323km ²		

2021年度 12PJ 対前年度比 119.6%



2020年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	238.5%	1	飽海郡遊佐町	4.6	☆1	最上郡鮭川村	582.9%
☆2	最上郡大蔵村	144.5%	2	酒田市	3.6	☆2	東田川郡三川町	484.5%
☆3	西村山郡朝日町	138.2%	3	東田川郡庄内町	2.8	☆3	東田川郡庄内町	452.1%
☆4	飽海郡遊佐町	131.2%	4	新庄市	2.4	☆4	東置賜郡川西町	440.1%
5	東田川郡庄内町	75.0%	5	山形市	2.3	☆5	最上郡戸沢村	396.0%
6	酒田市	36.0%	6	天童市	1.8	☆6	最上郡金山町	393.3%
7	東置賜郡川西町	33.3%	7	西村山郡朝日町	1.7	☆7	尾花沢市	378.9%
8	鶴岡市	31.3%	8	米沢市	1.7	☆8	西置賜郡飯豊町	365.3%
9	最上郡最上町	29.0%	9	鶴岡市	1.7	☆9	最上郡大蔵村	352.2%
10	東置賜郡高畠町	28.0%	10	東置賜郡高畠町	1.6	☆10	最上郡舟形町	342.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

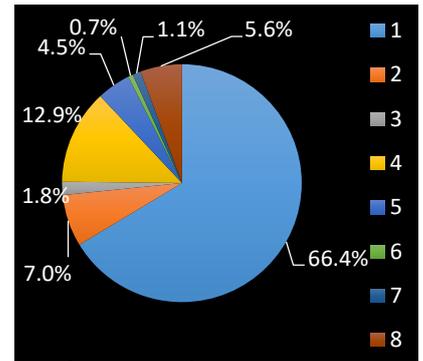
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

2022年度 50PJ 対前年度比 109.4%

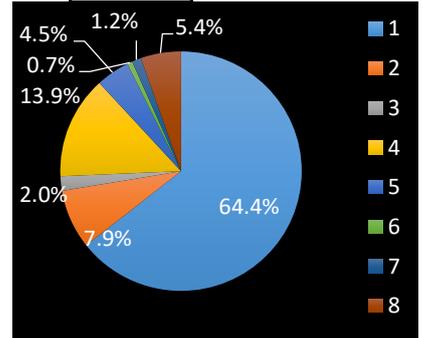


再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

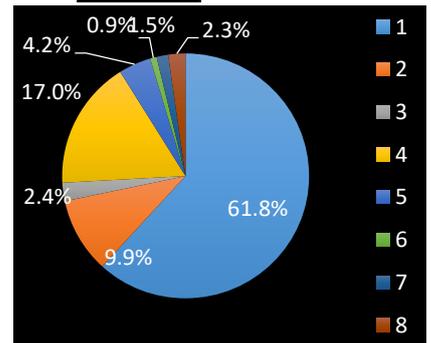
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 46PJ 対前年度比 124.0%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	33PJ	11	7	29	66.4%
2 風力発電	4PJ	6	9	15	7.0%
3 地熱発電	1PJ	6	5	5	1.8%
○ 4 小水力発電	6PJ	6	9	15	12.9%
5 バイオマス発電	2PJ	23	20	41	4.5%
6 太陽熱利用	0PJ	35	32	40	0.7%
7 地熱利用	1PJ	13	16	24	1.1%
8.バイオマス熱利用	3PJ	8	6	19	5.6%
合計(供給量)	50PJ	7			
再生可能エネルギー自給率			48.7%	再エネ自給率ランク 5	
食料自給率			67.8%	食料自給率ランク 10	
供給密度(TJ/km ²)			3.619	供給密度ランク 30	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				103PJ	
区域面積				13,784km ²	

2020年度 37PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	河沼郡柳津町	533.9%	1	西白河郡矢吹町	19.2	☆1	河沼郡湯川村	611.8%
☆2	双葉郡川内村	513.2%	2	双葉郡富岡町	16.3	☆2	河沼郡会津坂下町	344.0%
☆3	南会津郡下郷町	369.2%	3	西白河郡西郷村	12.0	☆3	大沼郡会津美里町	302.9%
☆4	東白川郡鮫川村	263.4%	4	白河市	10.8	☆4	耶麻郡猪苗代町	302.5%
☆5	田村郡小野町	213.8%	5	南相馬市	9.8	☆5	岩瀬郡天栄村	265.0%
☆6	西白河郡西郷村	197.4%	6	本宮市	9.3	☆6	大沼郡昭和村	246.3%
☆7	双葉郡楡葉町	191.2%	7	西白河郡中島村	9.2	☆7	喜多方市	229.5%
☆8	田村市	153.6%	8	岩瀬郡鏡石町	8.9	☆8	耶麻郡磐梯町	216.0%
☆9	西白河郡矢吹町	141.1%	9	相馬市	7.7	☆9	西白河郡泉崎村	212.2%
☆10	石川郡石川町	122.1%	10	石川郡石川町	7.6	☆10	西白河郡中島村	202.5%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

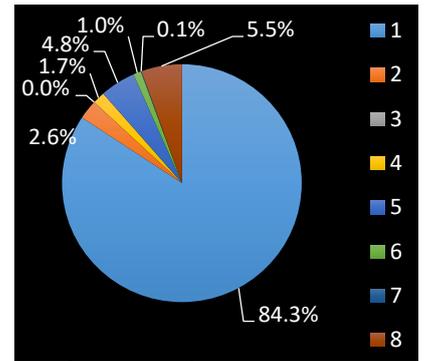
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、楡葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

2022年度 69PJ 対前年度比 102.8%

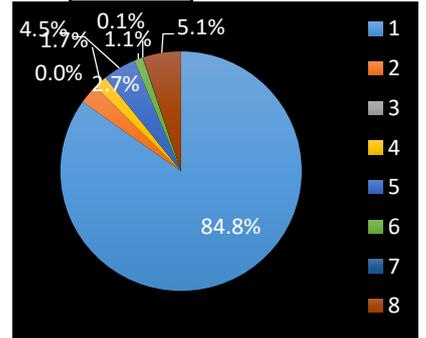


再生可能エネルギー供給状況

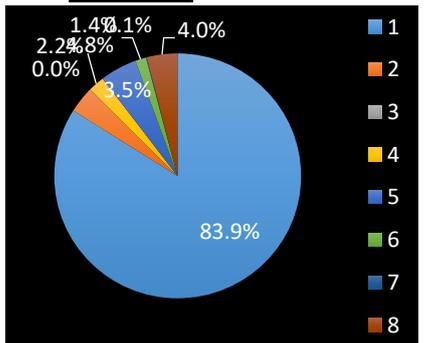
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 68PJ 対前年度比 128.0%



2020年度 53PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	59PJ	1	4	1	84.3%
○ 2 風力発電	2PJ	15	22	13	2.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	33	34	35	1.7%
5 バイオマス発電	3PJ	14	25	12	4.8%
6 太陽熱利用	1PJ	21	29	19	1.0%
7 地熱利用	0PJ	36	38	38	0.1%
8.バイオマス熱利用	4PJ	3	8	7	5.5%
合計(供給量)	69PJ	1			
再生可能エネルギー自給率			42.2%	再エネ自給率ランク	10
食料自給率			65.2%	食料自給率ランク	11
供給密度(TJ/km ²)			11.385	供給密度ランク	3
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				165PJ	
区域面積				6,097km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	行方市	154.2%	1	神栖市	36.1	☆1	稲敷郡河内町	420.2%
☆2	久慈郡大子町	127.0%	2	ひたちなか市	24.6	☆2	鉾田市	399.6%
☆3	桜川市	120.4%	3	牛久市	21.0	☆3	行方市	360.7%
☆4	北茨城市	112.5%	4	水戸市	18.5	☆4	稲敷市	276.0%
☆5	稲敷市	109.7%	5	鹿嶋市	17.4	☆5	結城郡八千代町	216.4%
6	高萩市	98.4%	6	守谷市	16.2	☆6	北茨城市	181.8%
7	常陸大宮市	96.3%	7	土浦市	15.7	☆7	東茨城郡茨城町	164.9%
8	神栖市	95.2%	8	稲敷郡阿見町	15.6	☆8	神栖市	138.4%
9	東茨城郡城里町	84.9%	9	那珂市	15.6	☆9	猿島郡五霞町	134.1%
10	かすみがうら市	77.9%	10	つくば市	15.5	☆10	筑西市	118.7%

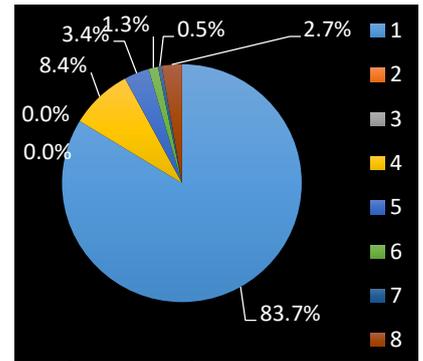
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

栃木県

2022年度 46PJ 対前年度比 113.0%

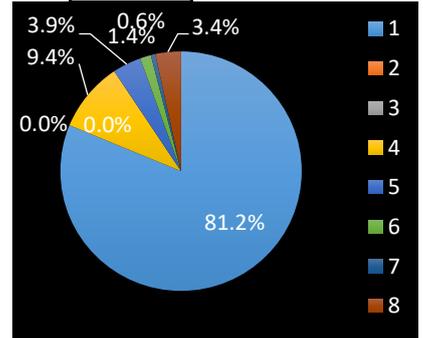


再生可能エネルギー供給状況

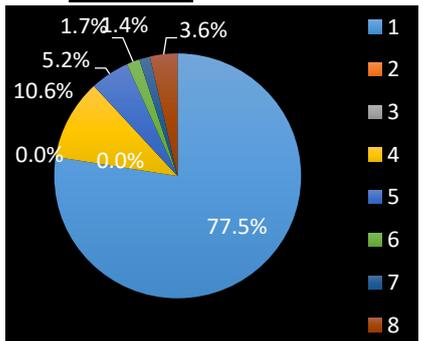
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 41PJ 対前年度比 115.4%



2020年度 35PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	38PJ	5	3	9	83.7%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	4PJ	12	18	12	8.4%
5 バイオマス発電	2PJ	31	31	30	3.4%
6 太陽熱利用	1PJ	26	25	27	1.3%
7 地熱利用	0PJ	25	25	26	0.5%
8. バイオマス熱利用	1PJ	21	23	21	2.7%
合計(供給量)	46PJ	11			
再生可能エネルギー自給率			44.3%	再エネ自給率ランク	8
食料自給率			61.6%	食料自給率ランク	13
供給密度(TJ/km ²)			7.145	供給密度ランク	12
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				103PJ	
区域面積				6,408km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	那須烏山市	230.7%	1	下都賀郡壬生町	15.7	☆1	芳賀郡芳賀町	265.6%
☆2	塩谷郡塩谷町	195.2%	2	那須烏山市	14.3	☆2	塩谷郡塩谷町	253.7%
☆3	那須郡那珂川町	158.2%	3	足利市	12.8	☆3	那須郡那須町	220.8%
☆4	那須郡那須町	113.7%	4	宇都宮市	12.2	☆4	大田原市	178.2%
☆5	日光市	106.5%	5	佐野市	11.8	☆5	塩谷郡高根沢町	160.9%
6	那須塩原市	93.2%	6	下都賀郡野木町	10.1	☆6	芳賀郡市貝町	159.9%
7	芳賀郡市貝町	86.8%	7	下野市	9.7	☆7	さくら市	143.7%
8	矢板市	83.4%	8	那須塩原市	9.7	☆8	那須郡那珂川町	143.4%
9	芳賀郡益子町	73.1%	9	小山市	9.6	☆9	芳賀郡茂木町	127.8%
10	大田原市	72.4%	10	矢板市	8.5	☆10	那須塩原市	121.9%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

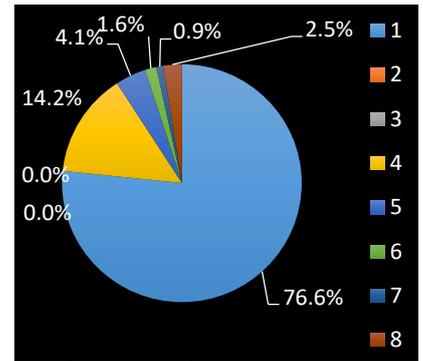
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

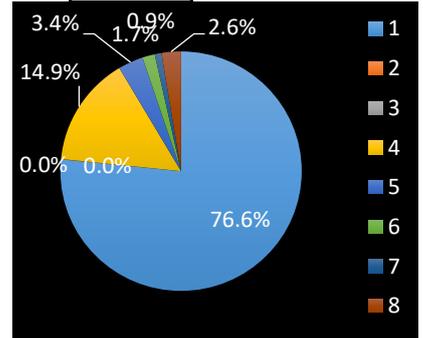
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

群馬県

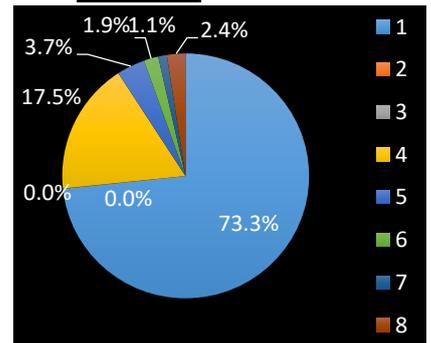
2022年度 **49PJ** 対前年度比 105.2%



2021年度 **46PJ** 対前年度比 117.5%



2020年度 **39PJ**



再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	37PJ	7	1	10	76.6%
2 風力発電	0PJ	37	37	37	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	7PJ	5	7	3	14.2%
5 バイオマス発電	2PJ	28	24	24	4.1%
6 太陽熱利用	1PJ	19	16	17	1.6%
7 地熱利用	0PJ	14	19	14	0.9%
8.バイオマス熱利用	1PJ	20	20	20	2.5%
合計(供給量)	49PJ	8			
再生可能エネルギー自給率			51.8%	再生エネ自給率ランク	3
食料自給率			30.2%	食料自給率ランク	31
供給密度(TJ/km ²)			7.673	供給密度ランク	10
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				94PJ	
区域面積				6,362km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	892.2%	1	太田市	24.4	☆1	利根郡昭和村	415.9%
☆2	吾妻郡嬭恋村	288.0%	2	伊勢崎市	23.8	☆2	吾妻郡嬭恋村	320.7%
☆3	吾妻郡高山村	267.2%	3	邑楽郡大泉町	23.8	☆3	邑楽郡板倉町	216.6%
☆4	多野郡神流町	263.9%	4	前橋市	22.2	☆4	吾妻郡長野原町	208.5%
☆5	吾妻郡東吾妻町	235.3%	5	邑楽郡千代田町	18.5	☆5	利根郡川場村	151.7%
☆6	利根郡昭和村	215.4%	6	邑楽郡邑楽町	18.2	☆6	吾妻郡東吾妻町	117.5%
☆7	吾妻郡中之条町	184.6%	7	高崎市	13.8	☆7	吾妻郡高山村	112.4%
☆8	吾妻郡長野原町	169.2%	8	安中市	13.4	☆8	邑楽郡千代田町	101.3%
☆9	安中市	163.4%	9	佐波郡玉村町	12.9	9	利根郡片品村	80.8%
☆10	利根郡みなかみ町	157.0%	10	館林市	12.7	10	邑楽郡明和町	76.2%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

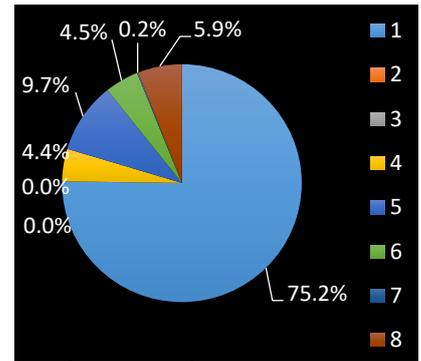
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

2022年度 **35PJ** 対前年度比 103.3%

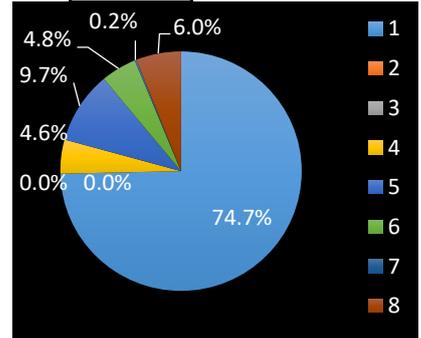


再生可能エネルギー供給状況

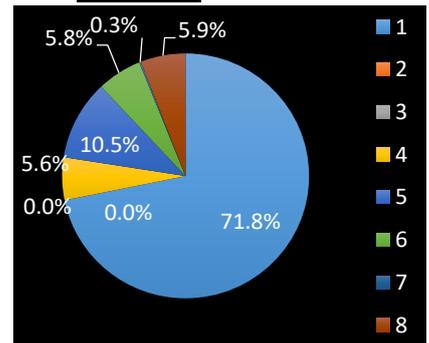
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 **34PJ** 対前年度比 123.2%



2020年度 **28PJ**



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	27PJ	13	36	5	75.2%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	2PJ	28	40	20	4.4%
5 バイオマス発電	3PJ	13	40	6	9.7%
6 太陽熱利用	2PJ	3	28	5	4.5%
7 地熱利用	0PJ	34	41	32	0.2%
8. バイオマス熱利用	2PJ	13	32	8	5.9%
合計(供給量)	35PJ	18			
再生可能エネルギー自給率			10.8%	再エネ自給率ランク	42
食料自給率			8.9%	食料自給率ランク	44
供給密度(TJ/km ²)			9.331	供給密度ランク	7
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				327PJ	
区域面積				3,798km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	秩父郡長瀬町	114.4%	1	ふじみ野市	24.4	1	比企郡川島町	97.7%
2	児玉郡美里町	88.0%	2	大里郡寄居町	22.2	2	比企郡吉見町	78.7%
3	秩父市	85.2%	3	三郷市	20.1	3	児玉郡美里町	76.7%
4	比企郡吉見町	73.1%	4	川口市	19.7	4	加須市	70.2%
5	児玉郡神川町	66.9%	5	戸田市	19.2	5	羽生市	50.0%
6	比企郡鳩山町	49.3%	6	さいたま市	17.0	6	行田市	43.5%
7	比企郡滑川町	40.0%	7	熊谷市	16.8	7	児玉郡上里町	43.3%
8	比企郡川島町	39.5%	8	所沢市	16.6	8	児玉郡神川町	40.2%
9	羽生市	34.3%	9	羽生市	16.1	9	北葛飾郡杉戸町	36.0%
10	大里郡寄居町	34.0%	10	比企郡吉見町	15.7	10	深谷市	36.0%

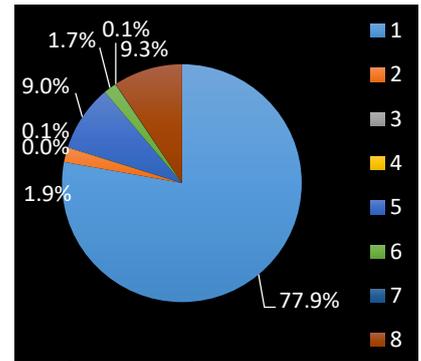
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

千葉県

2022年度 53PJ 対前年度比 104.9%

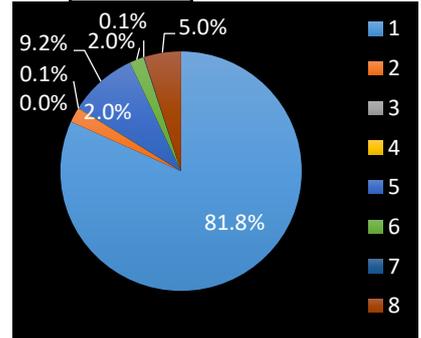


再生可能エネルギー供給状況

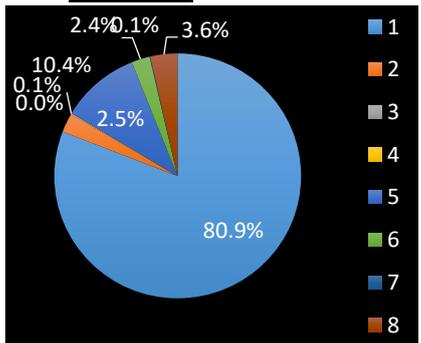
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 51PJ 対前年度比 124.3%



2020年度 41PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	42PJ	4	29	4	77.9%
2 風力発電	1PJ	18	26	19	1.9%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	46	45	46	0.1%
5 バイオマス発電	5PJ	9	30	5	9.0%
6 太陽熱利用	1PJ	11	33	12	1.7%
7 地熱利用	0PJ	40	45	40	0.1%
8.バイオマス熱利用	5PJ	2	14	4	9.3%
合計(供給量)	53PJ	4			
再生可能エネルギー自給率			17.0%	再エネ自給率ランク	35
食料自給率			21.6%	食料自給率ランク	35
供給密度(TJ/km ²)			10.354	供給密度ランク	5
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				314PJ	
区域面積				5,157km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	香取郡神崎町	159.0%	1	市原市	23.0	☆1	香取郡多古町	254.3%
☆2	勝浦市	125.2%	2	流山市	22.0	☆2	香取市	216.0%
☆3	長生郡長南町	117.9%	3	八街市	20.5	☆3	山武郡芝山町	191.8%
4	長生郡長柄町	79.9%	4	香取郡神崎町	20.3	☆4	匝瑳市	188.9%
5	富津市	77.7%	5	印旛郡酒々井町	19.7	☆5	香取郡東庄町	184.3%
6	夷隅郡大多喜町	72.1%	6	袖ヶ浦市	19.5	☆6	山武郡横芝光町	174.5%
7	長生郡睦沢町	70.9%	7	船橋市	19.2	☆7	長生郡長南町	171.1%
8	山武郡芝山町	69.2%	8	野田市	18.8	☆8	旭市	161.9%
9	夷隅郡御宿町	66.9%	9	浦安市	18.0	☆9	香取郡神崎町	150.7%
10	山武市	60.9%	10	習志野市	16.9	☆10	山武市	125.5%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

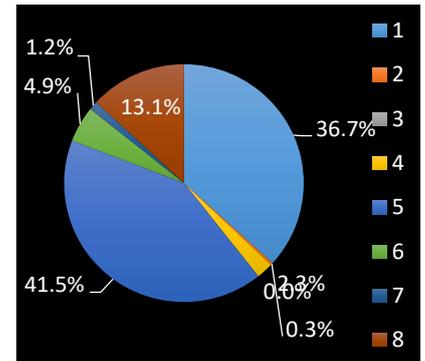
東京都

2022年度 **23PJ** 対前年度比 99.7%

再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

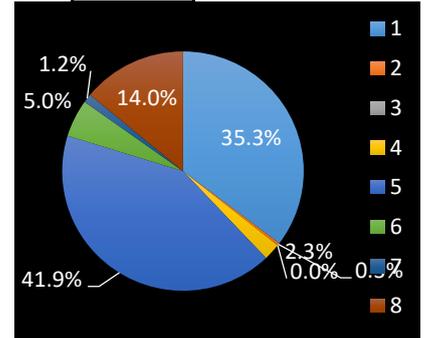
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○



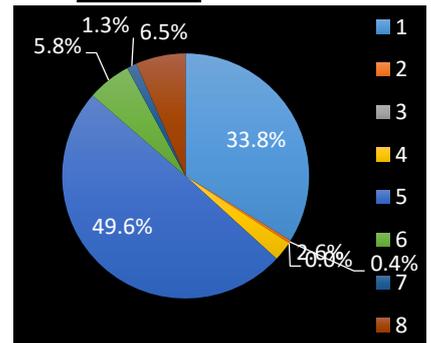
PJ(ペタジュール) = 10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	35	47	16	36.7%
2 風力発電	0PJ	33	36	30	0.3%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	40	44	31	2.3%
◎ 5 バイオマス発電	9PJ	3	41	1	41.5%
6 太陽熱利用	1PJ	9	45	3	4.9%
7 地熱利用	0PJ	23	39	8	1.2%
○ 8 バイオマス熱利用	3PJ	6	43	2	13.1%
合計(供給量)	23PJ	28			
再生可能エネルギー自給率			2.5%	再エネ自給率ランク 47	
食料自給率			0.4%	食料自給率ランク 47	
供給密度(TJ/km ²)			10.342	供給密度ランク 6	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				906PJ	
区域面積				2,181km ²	

2021年度 **23PJ** 対前年度比 114.4%



2020年度 **20PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	西多摩郡奥多摩町	88.1%	1	稲城市	57.6	☆1	青ヶ島村	793.0%
2	稲城市	23.8%	2	中央区	50.5	2	八丈町	32.8%
3	神津島村	19.2%	3	江東区	42.6	3	神津島村	17.9%
4	新島村	12.9%	4	目黒区	38.5	4	利島村	16.1%
5	東久留米市	11.1%	5	墨田区	38.2	5	あきる野市	14.9%
6	羽村市	10.6%	6	東久留米市	37.4	6	新島村	10.2%
7	八丈町	10.5%	7	品川区	36.3	7	小笠原村	8.8%
8	御蔵島村	8.9%	8	豊島区	31.8	8	三宅村	7.7%
9	三宅村	7.8%	9	杉並区	31.4	9	御蔵島村	7.1%
10	あきる野市	7.5%	10	練馬区	29.4	10	西多摩郡瑞穂町	7.0%

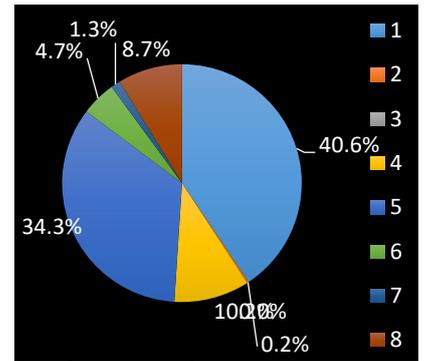
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

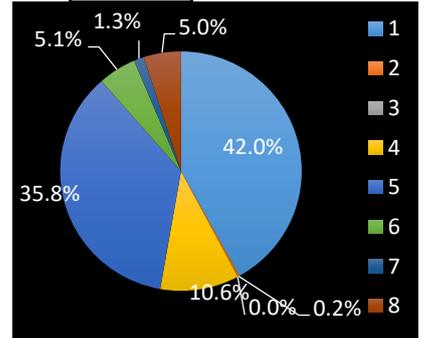
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

神奈川県

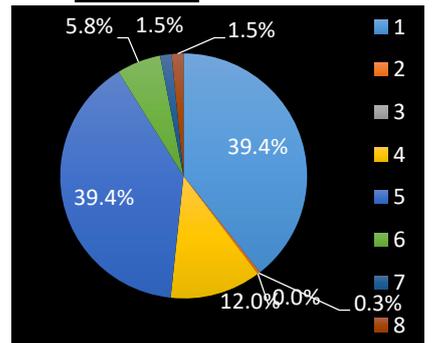
2022年度 29PJ 対前年度比 104.5%



2021年度 28PJ 対前年度比 113.5%



2020年度 25PJ



再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	29	46	12	40.6%
2 風力発電	0PJ	34	35	31	0.2%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	19	36	2	10.2%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	2	21	2	34.3%
6 太陽熱利用	1PJ	7	34	2	4.7%
7 地熱利用	0PJ	17	30	6	1.3%
8.バイオマス熱利用	3PJ	9	36	3	8.7%
合計(供給量)	29PJ	25			
再生可能エネルギー自給率			6.3%	再エネ自給率ランク	45
食料自給率			1.8%	食料自給率ランク	45
供給密度(TJ/km ²)			12.174	供給密度ランク	2
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				465PJ	
区域面積				2,416km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	277.0%	1	川崎市	50.3	1	三浦市	60.5%
2	足柄下郡箱根町	50.6%	2	茅ヶ崎市	27.2	2	愛甲郡清川村	50.2%
3	足柄上郡中井町	34.0%	3	大和市	22.2	3	足柄上郡中井町	18.0%
4	足柄上郡大井町	29.4%	4	海老名市	22.0	4	足柄上郡開成町	11.3%
5	南足柄市	26.2%	5	座間市	19.1	5	足柄上郡大井町	10.5%
6	足柄下郡湯河原町	11.2%	6	足柄上郡大井町	17.3	6	足柄下郡真鶴町	9.7%
7	秦野市	10.4%	7	横須賀市	16.0	7	伊勢原市	9.6%
8	茅ヶ崎市	9.8%	8	平塚市	14.8	8	南足柄市	8.0%
9	川崎市	9.6%	9	横浜市	14.5	9	愛甲郡愛川町	6.9%
10	愛甲郡愛川町	9.3%	10	綾瀬市	12.8	10	小田原市	6.2%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

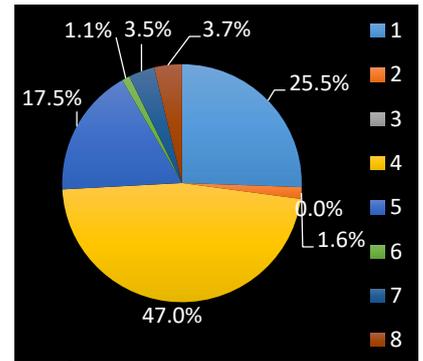
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

新潟県

2022年度 20PJ 対前年度比 101.6%

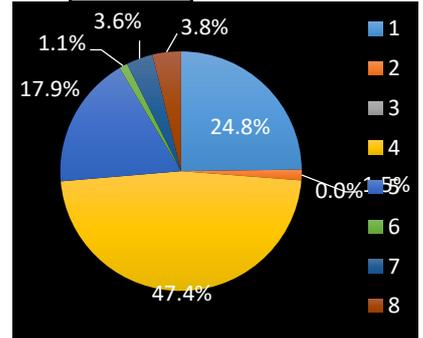


再生可能エネルギー供給状況

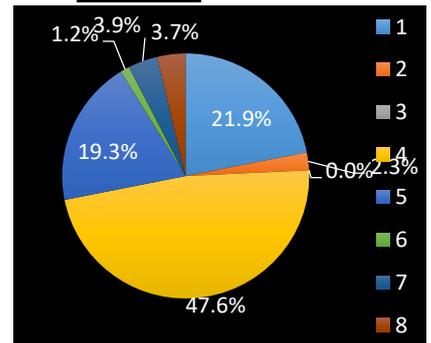
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 19PJ 対前年度比 107.8%



2020年度 18PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	40	44	44	25.5%
2 風力発電	0PJ	30	29	32	1.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	9PJ	3	8	8	47.0%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	12	16	28	17.5%
6 太陽熱利用	0PJ	39	39	42	1.1%
7 地熱利用	1PJ	10	15	20	3.5%
8.バイオマス熱利用	1PJ	30	35	39	3.7%
合計(供給量)	20PJ	31			
再生可能エネルギー自給率			15.3%	再エネ自給率ランク 39	
食料自給率			103.6%	食料自給率ランク 5	
供給密度(TJ/km ²)			1.564	供給密度ランク 45	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				129PJ	
区域面積				12,584km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	213.4%	1	阿賀野市	6.2	☆1	中魚沼郡津南町	356.6%
☆2	中魚沼郡津南町	113.5%	2	糸魚川市	5.9	☆2	岩船郡関川村	326.1%
3	妙高市	87.2%	3	新潟市	4.4	☆3	阿賀野市	248.2%
4	東蒲原郡阿賀町	79.7%	4	胎内市	3.9	☆4	西蒲原郡弥彦村	210.4%
5	南魚沼郡湯沢町	67.7%	5	中魚沼郡津南町	3.5	☆5	佐渡市	207.6%
6	胎内市	66.7%	6	妙高市	3.3	☆6	胎内市	204.9%
7	阿賀野市	62.0%	7	北蒲原郡聖籠町	2.8	☆7	刈羽郡刈羽村	182.5%
8	魚沼市	59.1%	8	五泉市	2.0	☆8	村上市	181.1%
9	五泉市	29.0%	9	南魚沼市	1.6	☆9	南魚沼市	171.0%
10	三島郡出雲崎町	26.4%	10	三条市	1.5	☆10	新発田市	170.4%

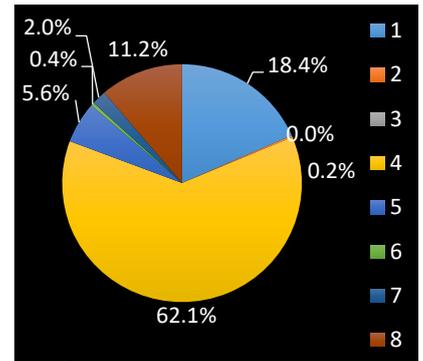
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

2022年度 21PJ 対前年度比 101.1%



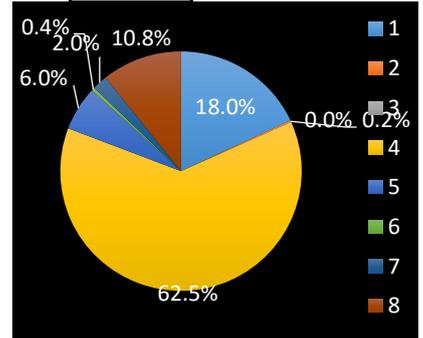
再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

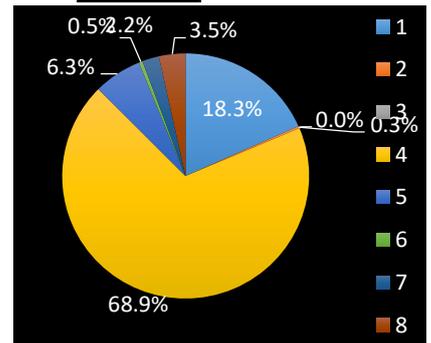
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	4PJ	44	41	40	18.4%
2 風力発電	0PJ	35	33	35	0.2%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	13PJ	2	1	1	62.1%
5 バイオマス発電	1PJ	35	28	27	5.6%
6 太陽熱利用	0PJ	44	43	41	0.4%
7 地熱利用	0PJ	15	13	11	2.0%
○ 8 バイオマス熱利用	2PJ	11	2	9	11.2%
合計(供給量)	21PJ	29			
再生可能エネルギー自給率			30.1%	再エネ自給率ランク 22	
食料自給率			71.7%	食料自給率ランク 8	
供給密度(TJ/km ²)			4.926	供給密度ランク 20	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				69PJ	
区域面積				4,248km ²	

2021年度 21PJ 対前年度比 111.0%



2020年度 19PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	135.4%	1	滑川市	15.2	☆1	下新川郡入善町	275.7%
2	中新川郡立山町	95.2%	2	魚津市	9.9	☆2	南砺市	200.9%
3	魚津市	78.5%	3	富山市	7.8	☆3	下新川郡朝日町	188.8%
4	中新川郡上市町	70.3%	4	高岡市	7.6	☆4	小矢部市	159.1%
5	黒部市	66.4%	5	射水市	6.9	☆5	中新川郡立山町	158.9%
6	滑川市	49.4%	6	下新川郡入善町	6.4	☆6	砺波市	132.4%
7	下新川郡入善町	32.5%	7	下新川郡朝日町	4.3	7	中新川郡上市町	92.1%
8	富山市	31.5%	8	中新川郡立山町	3.9	8	中新川郡舟橋村	89.7%
9	小矢部市	17.7%	9	黒部市	3.7	9	黒部市	89.6%
10	高岡市	13.8%	10	中新川郡舟橋村	3.1	10	氷見市	81.2%

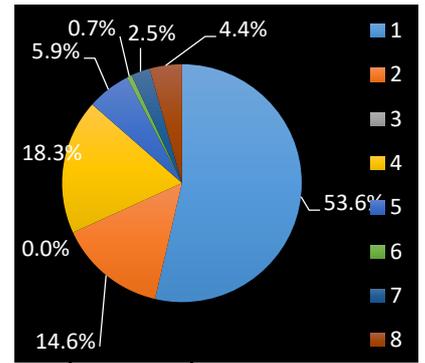
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

石川県

2022年度 15PJ 対前年度比 109.0%

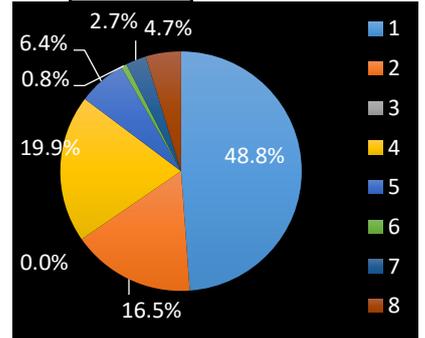


再生可能エネルギー供給状況

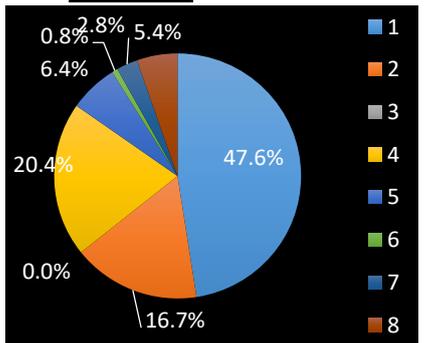
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 13PJ 対前年度比 102.4%



2020年度 13PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	37	33	33	53.6%
○ 2 風力発電	2PJ	12	13	5	14.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	21	16	10	18.3%
5 バイオマス発電	1PJ	39	37	34	5.9%
6 太陽熱利用	0PJ	43	41	39	0.7%
7 地熱利用	0PJ	18	17	13	2.5%
8.バイオマス熱利用	1PJ	35	27	26	4.4%
合計(供給量)	15PJ	37			
再生可能エネルギー自給率			20.3%	再エネ自給率ランク	31
食料自給率			42.6%	食料自給率ランク	21
供給密度(TJ/km ²)			3.485	供給密度ランク	31
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			72PJ		
区域面積			4,186km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	羽咋郡宝達志水町	215.6%	1	羽咋郡宝達志水町	12.5	☆1	羽咋郡志賀町	194.4%
☆2	鳳珠郡穴水町	129.9%	2	野々市市	8.4	☆2	能美郡川北町	184.6%
☆3	珠洲市	117.4%	3	七尾市	6.2	☆3	羽咋郡宝達志水町	143.7%
☆4	羽咋郡志賀町	102.6%	4	かほく市	5.7	☆4	羽咋市	143.1%
5	七尾市	53.4%	5	羽咋郡志賀町	5.6	☆5	珠洲市	128.2%
6	白山市	39.8%	6	河北郡内灘町	5.5	☆6	鳳珠郡能登町	126.6%
7	鹿島郡中能登町	35.2%	7	能美郡川北町	5.4	☆7	鹿島郡中能登町	113.6%
8	羽咋市	30.3%	8	羽咋市	4.3	8	輪島市	89.6%
9	能美郡川北町	28.3%	9	鳳珠郡穴水町	4.2	9	鳳珠郡穴水町	86.7%
10	輪島市	26.7%	10	金沢市	4.0	10	七尾市	77.8%

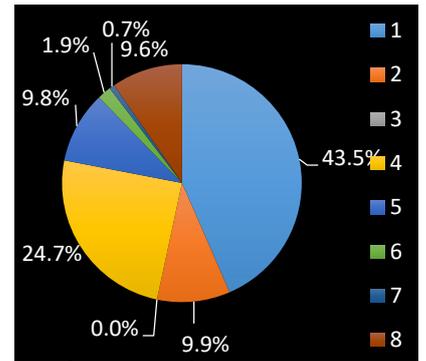
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

2022年度 7PJ 対前年度比 106.0%



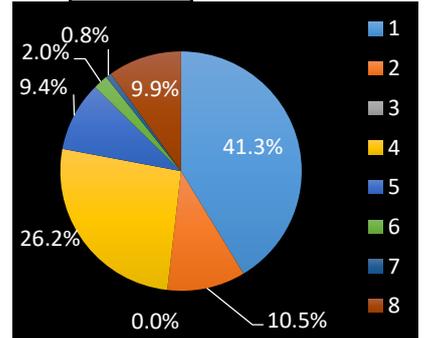
再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

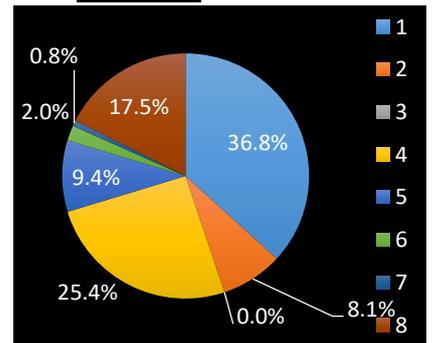
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3PJ	47	38	42	43.5%
2 風力発電	1PJ	25	21	23	9.9%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	2PJ	27	19	18	24.7%
5 バイオマス発電	1PJ	43	33	40	9.8%
6 太陽熱利用	0PJ	41	36	38	1.9%
7 地熱利用	0PJ	37	29	37	0.7%
8.バイオマス熱利用	1PJ	32	18	25	9.6%
合計(供給量)	7PJ	46			
再生可能エネルギー自給率			14.4%	再エネ自給率ランク	41
食料自給率			59.6%	食料自給率ランク	14
供給密度(TJ/km ²)			1.687	供給密度ランク	44
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			49PJ		
区域面積			4,191km ²		

2021年度 7PJ 対前年度比 100.2%



2020年度 7PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	79.2%	1	あわら市	8.6	☆1	今立郡池田町	166.1%
2	あわら市	59.5%	2	坂井市	5.6	☆2	大野市	160.3%
3	今立郡池田町	34.8%	3	福井市	3.1	☆3	三方上中郡若狭町	140.9%
4	勝山市	30.7%	4	鯖江市	2.4	☆4	あわら市	123.5%
5	坂井市	25.6%	5	大野市	1.6	☆5	南条郡南越前町	110.6%
6	三方郡美浜町	18.0%	6	敦賀市	1.5	6	三方郡美浜町	95.6%
7	南条郡南越前町	9.6%	7	勝山市	1.4	7	坂井市	94.6%
8	福井市	8.5%	8	越前市	1.3	8	大飯郡おおい町	94.1%
9	敦賀市	8.2%	9	三方郡美浜町	0.8	9	勝山市	89.1%
10	丹生郡越前町	7.4%	10	吉田郡永平寺町	0.6	10	丹生郡越前町	76.6%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

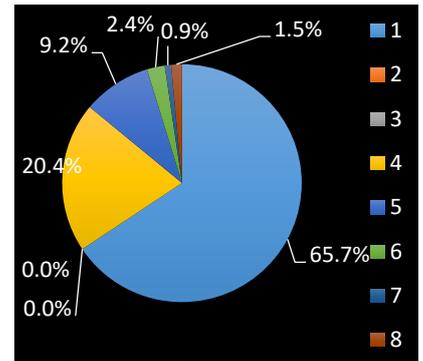
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

2022年度 16PJ 対前年度比 100.6%

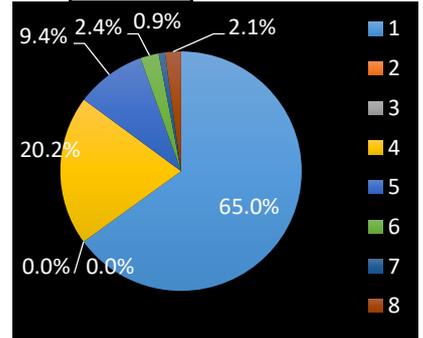


再生可能エネルギー供給状況

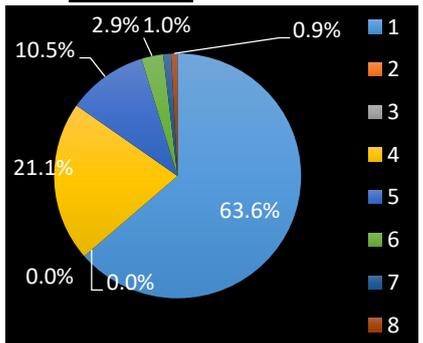
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 16PJ 対前年度比 118.3%



2020年度 14PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	32	14	28	65.7%
2 風力発電	0PJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	15	5	7	20.4%
5 バイオマス発電	2PJ	33	11	20	9.2%
6 太陽熱利用	0PJ	32	10	29	2.4%
7 地熱利用	0PJ	31	20	29	0.9%
8.バイオマス熱利用	0PJ	43	37	40	1.5%
合計(供給量)	16PJ	34			
再生可能エネルギー自給率			37.4%	再エネ自給率ランク	15
食料自給率			17.7%	食料自給率ランク	38
供給密度(TJ/km ²)			3.681	供給密度ランク	28
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				44PJ	
区域面積				4,461km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	1137.6%	1	甲斐市	21.1	1	北杜市	96.3%
☆2	北杜市	127.2%	2	中巨摩郡昭和町	20.5	2	韮崎市	50.8%
☆3	大月市	118.8%	3	中央市	10.3	3	甲州市	28.8%
4	韮崎市	70.9%	4	南都留郡忍野村	9.4	4	南巨摩郡南部町	22.9%
5	甲州市	64.4%	5	甲府市	7.2	5	中央市	22.4%
6	南都留郡忍野村	60.6%	6	韮崎市	6.7	6	南巨摩郡身延町	20.8%
7	南都留郡鳴沢村	58.4%	7	笛吹市	5.5	7	南都留郡富士河口湖町	20.0%
8	山梨市	56.1%	8	北杜市	5.4	8	山梨市	19.9%
9	甲斐市	45.5%	9	南アルプス市	4.7	9	笛吹市	19.6%
10	南アルプス市	45.1%	10	大月市	4.2	10	南アルプス市	17.8%

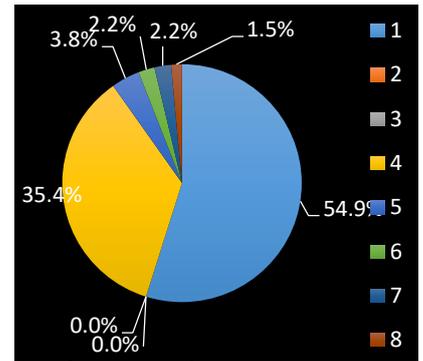
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

2022年度 40PJ 対前年度比 100.8%



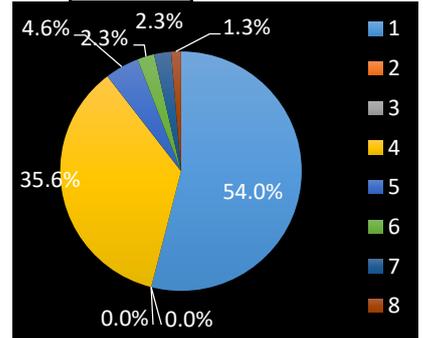
再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

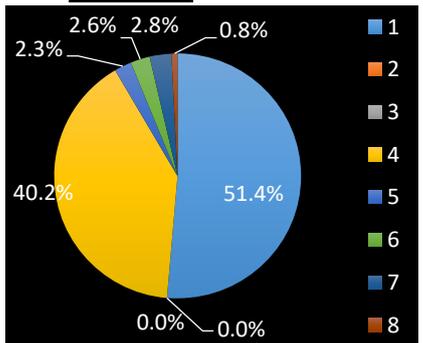
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	22PJ	18	19	36	54.9%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	14PJ	1	2	4	35.4%
5 バイオマス発電	2PJ	32	35	44	3.8%
6 太陽熱利用	1PJ	14	19	34	2.2%
7 地熱利用	1PJ	9	9	15	2.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	36	39	42	1.5%
合計(供給量)	40PJ	13			
再生可能エネルギー自給率			33.8%	再生可能エネルギー自給率ランク	19
食料自給率			47.5%	食料自給率ランク	19
供給密度(TJ/km ²)			2.972	供給密度ランク	37
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				119PJ	
区域面積				13,562km ²	

2021年度 40PJ 対前年度比 113.8%



2020年度 35PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡平谷村	1354.2%	1	小諸市	10.1	☆1	南佐久郡川上村	745.5%
☆2	下伊那郡大鹿村	1220.0%	2	諏訪市	9.8	☆2	南佐久郡南牧村	664.9%
☆3	下水内郡栄村	646.0%	3	南佐久郡小海町	8.7	☆3	下水内郡栄村	246.7%
☆4	南佐久郡川上村	395.8%	4	北佐久郡御代田町	7.3	☆4	下高井郡木島平村	223.5%
☆5	南佐久郡小海町	358.7%	5	上伊那郡南箕輪村	6.3	☆5	北佐久郡立科町	207.7%
☆6	北安曇郡小谷村	260.7%	6	東御市	6.2	☆6	北安曇郡松川村	169.7%
☆7	下伊那郡阿南町	230.6%	7	上伊那郡飯島町	6.1	☆7	南佐久郡北相木村	161.7%
☆8	下伊那郡泰阜村	226.3%	8	上高井郡小布施町	5.5	☆8	上水内郡信濃町	160.9%
☆9	下伊那郡阿智村	218.3%	9	安曇野市	5.4	☆9	飯山市	154.6%
☆10	小県郡長和町	202.8%	10	下伊那郡平谷村	5.4	☆10	諏訪郡原村	147.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

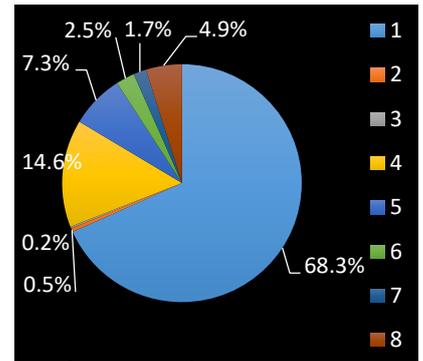
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

2022年度 32PJ 対前年度比 112.1%

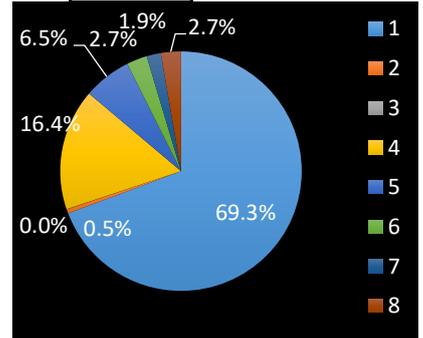


再生可能エネルギー供給状況

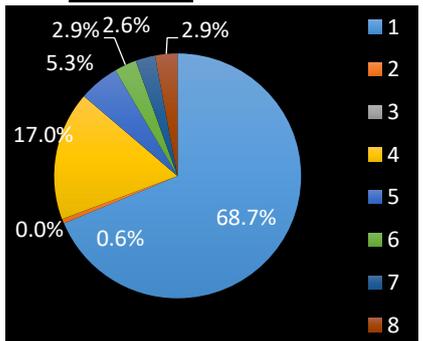
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 29PJ 対前年度比 107.8%



2020年度 27PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	22PJ	19	18	32	68.3%
2 風力発電	0PJ	31	31	34	0.5%
3 地熱発電	0PJ	8	8	8	0.2%
○ 4 小水力発電	5PJ	10	15	16	14.6%
5 バイオマス発電	2PJ	22	23	31	7.3%
6 太陽熱利用	1PJ	17	18	32	2.5%
7 地熱利用	1PJ	12	18	21	1.7%
8.バイオマス熱利用	2PJ	18	16	27	4.9%
合計(供給量)	32PJ	22			
再生可能エネルギー自給率			29.6%	再エネ自給率ランク 23	
食料自給率			22.9%	食料自給率ランク 34	
供給密度(TJ/km ²)			3.040	供給密度ランク 36	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			109PJ		
区域面積			10,621km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	加茂郡川辺町	115.8%	1	瑞穂市	46.1	☆1	海津市	157.5%
☆2	加茂郡富加町	106.3%	2	可児市	21.7	☆2	安八郡輪之内町	109.5%
3	揖斐郡揖斐川町	99.4%	3	羽島郡岐南町	19.9	3	養老郡養老町	84.4%
4	恵那市	99.1%	4	本巣郡北方町	19.3	4	加茂郡東白川村	66.9%
5	加茂郡白川町	87.4%	5	多治見市	16.5	5	揖斐郡揖斐川町	63.5%
6	加茂郡八百津町	75.2%	6	加茂郡富加町	14.5	6	加茂郡白川町	62.7%
7	飛騨市	64.6%	7	各務原市	14.3	7	郡上市	56.7%
8	本巣市	62.7%	8	加茂郡川辺町	13.5	8	高山市	53.6%
9	美濃市	60.1%	9	羽島郡笠松町	13.5	9	揖斐郡大野町	50.0%
10	瑞浪市	52.1%	10	土岐市	11.9	10	大野郡白川村	48.6%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

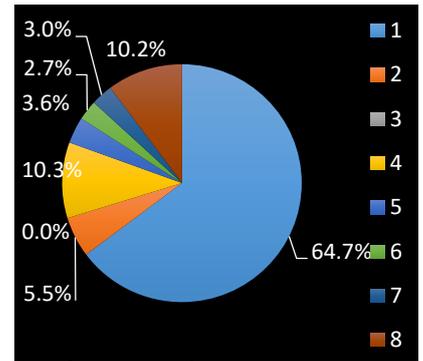
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

静岡県

2022年度 53PJ 対前年度比 104.4%

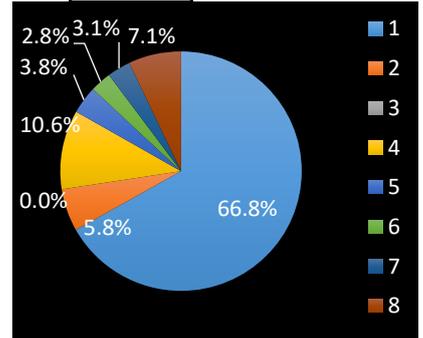


再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

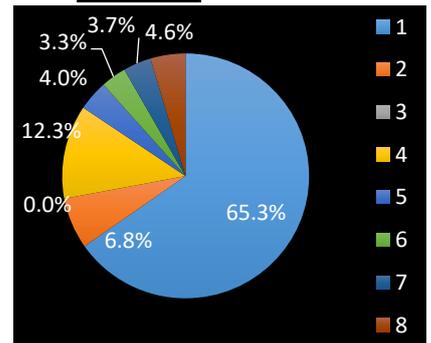
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 51PJ 対前年度比 117.2%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	34PJ	8	20	14	64.7%
2 風力発電	3PJ	8	19	10	5.5%
3 地熱発電	0PJ	9	10	10	0.0%
○ 4 小水力発電	5PJ	8	23	9	10.3%
5 バイオマス発電	2PJ	30	44	29	3.6%
6 太陽熱利用	1PJ	6	20	11	2.7%
7 地熱利用	2PJ	5	8	3	3.0%
○ 8.バイオマス熱利用	5PJ	1	5	6	10.2%
合計(供給量)	53PJ	5			
再生可能エネルギー自給率			27.0%	再エネ自給率ランク	27
食料自給率			14.6%	食料自給率ランク	40
供給密度(TJ/km ²)			6.787	供給密度ランク	13
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			195PJ		
区域面積			7,777km ²		

2020年度 43PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡南伊豆町	201.5%	1	湖西市	21.0	1	焼津市	57.6%
☆2	賀茂郡河津町	198.2%	2	御前崎市	19.9	2	周智郡森町	44.8%
☆3	駿東郡小山町	117.0%	3	榛原郡吉田町	19.0	3	御前崎市	42.4%
4	牧之原市	89.5%	4	焼津市	16.8	4	袋井市	32.8%
5	御前崎市	84.8%	5	牧之原市	16.3	5	駿東郡小山町	31.7%
6	賀茂郡東伊豆町	80.8%	6	磐田市	15.6	6	沼津市	31.7%
7	榛原郡川根本町	61.7%	7	島田市	14.2	7	菊川市	31.3%
8	島田市	60.2%	8	袋井市	12.7	8	牧之原市	28.6%
9	湖西市	57.6%	9	菊川市	12.4	9	掛川市	28.0%
10	富士宮市	56.0%	10	掛川市	11.4	10	富士宮市	27.8%

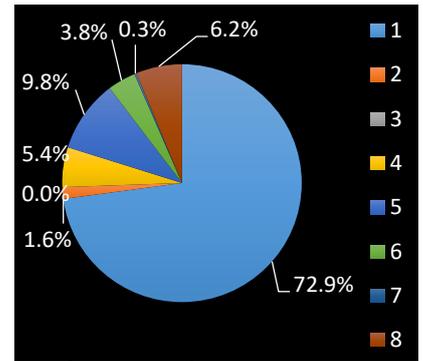
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛知県

2022年度 58PJ 対前年度比 111.2%

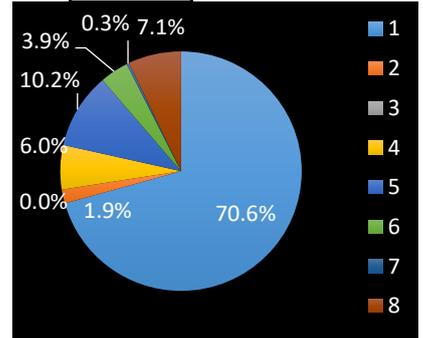


再生可能エネルギー供給状況

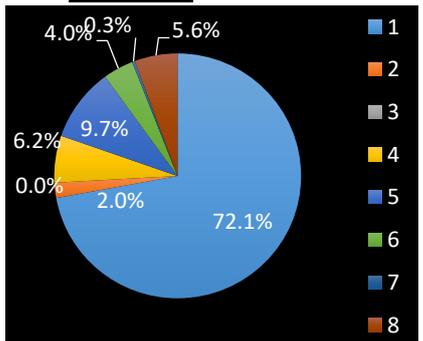
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 52PJ 対前年度比 104.2%



2020年度 50PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	42PJ	2	34	3	72.9%
○ 2 風力発電	1PJ	21	30	21	1.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	3PJ	17	33	11	5.4%
5 バイオマス発電	6PJ	7	32	4	9.8%
6 太陽熱利用	2PJ	1	26	4	3.8%
7 地熱利用	0PJ	29	36	27	0.3%
8.バイオマス熱利用	4PJ	4	26	5	6.2%
合計(供給量)	58PJ	3			
再生可能エネルギー自給率			14.5%	再エネ自給率ランク	40
食料自給率			10.9%	食料自給率ランク	43
供給密度(TJ/km ²)			11.217	供給密度ランク	4
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				400PJ	
区域面積				5,170km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田原市	106.9%	1	知多郡武豊町	51.1	☆1	海部郡飛鳥村	251.2%
2	知多郡美浜町	93.8%	2	春日井市	31.5	☆2	知多郡南知多町	150.1%
3	知多郡武豊町	78.8%	3	知多郡東浦町	24.4	☆3	田原市	142.2%
4	新城市	63.9%	4	高浜市	24.3	☆4	北設楽郡設楽町	107.5%
5	海部郡飛鳥村	51.3%	5	名古屋市	23.9	5	弥富市	65.2%
6	知多郡東浦町	38.3%	6	知多郡美浜町	23.0	6	愛西市	63.9%
7	知多郡南知多町	37.8%	7	半田市	22.5	7	新城市	49.2%
8	知多郡阿久比町	36.5%	8	一宮市	21.7	8	知多郡美浜町	49.2%
9	豊田市	35.7%	9	岩倉市	20.8	9	西尾市	43.0%
10	弥富市	33.1%	10	海部郡大治町	20.8	10	額田郡幸田町	30.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

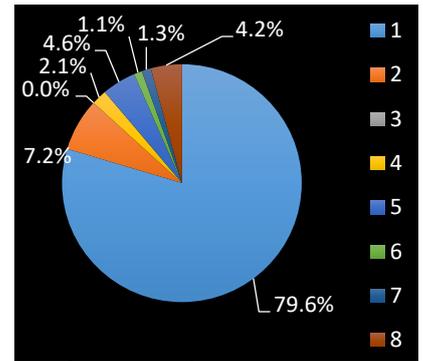
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

2022年度 48PJ 対前年度比 111.3%

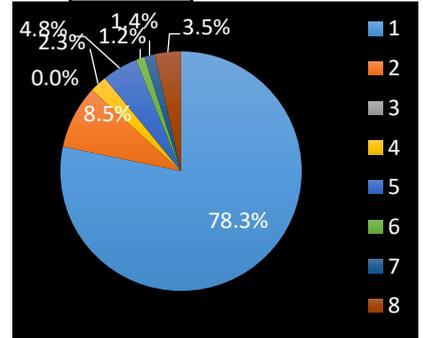


再生可能エネルギー供給状況

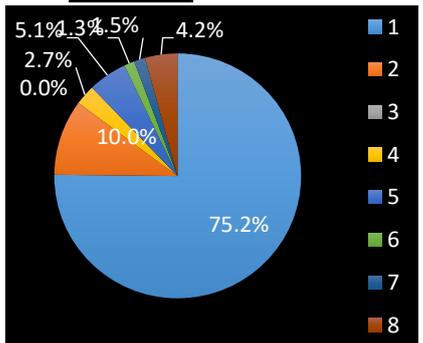
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 43PJ 対前年度比 114.8%



2020年度 38PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	38PJ	6	2	7	79.6%
○ 2 風力発電	3PJ	7	10	3	7.2%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	35	32	36	2.1%
5 バイオマス発電	2PJ	27	22	18	4.6%
6 太陽熱利用	1PJ	27	27	28	1.1%
7 地熱利用	1PJ	11	12	9	1.3%
8. バイオマス熱利用	2PJ	14	9	11	4.2%
合計(供給量)	48PJ	9			
再生可能エネルギー自給率			46.8%	再エネ自給率ランク 7	
食料自給率			37.1%	食料自給率ランク 24	
供給密度(TJ/km ²)			8.320	供給密度ランク 8	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				103PJ	
区域面積				5,774km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	562.5%	1	三重郡川越町	99.8	☆1	度会郡南伊勢町	292.8%
☆2	多気郡大台町	162.0%	2	四日市市	21.7	☆2	桑名郡木曾岬町	129.2%
☆3	多気郡多気町	134.4%	3	多気郡明和町	21.5	☆3	度会郡玉城町	116.0%
☆4	鳥羽市	100.2%	4	員弁郡東員町	20.2	☆4	多気郡多気町	112.0%
5	伊賀市	97.4%	5	鈴鹿市	18.7	☆5	多気郡明和町	102.3%
6	多気郡明和町	81.7%	6	多気郡多気町	16.7	6	鳥羽市	95.1%
7	いなべ市	80.1%	7	度会郡度会町	15.4	7	伊賀市	93.7%
8	三重郡菟野町	77.4%	8	三重郡菟野町	13.8	8	南牟婁郡御浜町	90.4%
9	北牟婁郡紀北町	76.9%	9	桑名市	13.1	9	北牟婁郡紀北町	83.4%
10	志摩市	73.6%	10	三重郡朝日町	12.4	10	度会郡大紀町	66.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

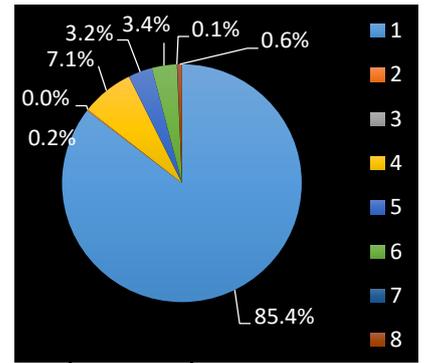
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

2022年度 14PJ 対前年度比 107.4%

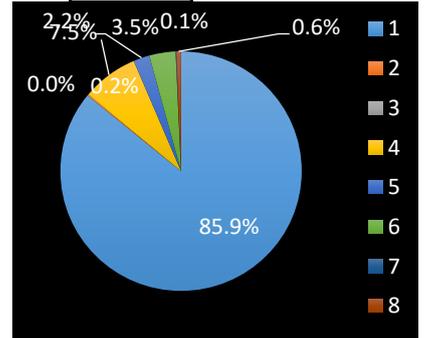


再生可能エネルギー供給状況

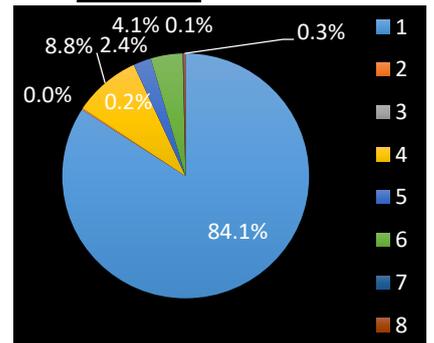
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 13PJ 対前年度比 117.0%



2020年度 11PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	30	25	23	85.4%
○ 2 風力発電	0PJ	36	34	36	0.2%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	36	29	30	7.1%
5 バイオマス発電	0PJ	45	46	45	3.2%
6 太陽熱利用	0PJ	29	24	21	3.4%
7 地熱利用	0PJ	45	44	44	0.1%
8.バイオマス熱利用	0PJ	47	46	47	0.6%
合計(供給量)	14PJ	39			
再生可能エネルギー自給率			19.3%	再エネ自給率ランク 34	
食料自給率			46.8%	食料自給率ランク 20	
供給密度(TJ/km ²)			3.478	供給密度ランク 32	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				72PJ	
区域面積				4,017km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	蒲生郡日野町	66.5%	1	草津市	14.3	☆1	蒲生郡竜王町	176.2%
2	米原市	50.9%	2	彦根市	10.4	☆2	犬上郡甲良町	174.3%
3	高島市	49.6%	3	犬上郡豊郷町	10.2	☆3	高島市	114.4%
4	甲賀市	46.1%	4	守山市	9.1	☆4	東近江市	112.2%
5	犬上郡多賀町	42.0%	5	愛知郡愛荘町	8.9	☆5	蒲生郡日野町	102.3%
6	愛知郡愛荘町	38.3%	6	栗東市	8.3	6	愛知郡愛荘町	99.2%
7	犬上郡甲良町	36.9%	7	犬上郡甲良町	7.8	7	近江八幡市	85.6%
8	蒲生郡竜王町	36.8%	8	近江八幡市	6.3	8	長浜市	85.1%
9	東近江市	33.0%	9	野洲市	6.2	9	犬上郡多賀町	78.8%
10	犬上郡豊郷町	22.8%	10	湖南市	5.9	10	野洲市	78.2%

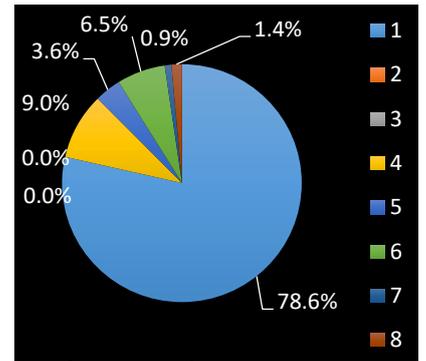
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

2022年度 10PJ 対前年度比 96.8%

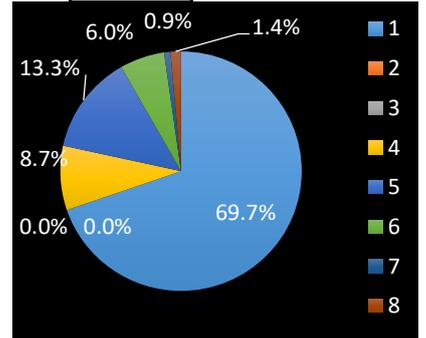


再生可能エネルギー供給状況

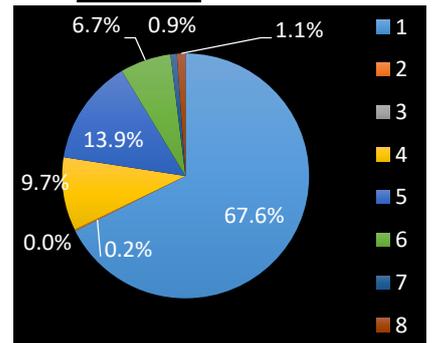
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 10PJ 対前年度比 111.0%



2020年度 9PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	38	43	35	78.6%
○ 2 風力発電	0PJ	41	41	41	0.0%
○ 3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	38	37	33	9.0%
○ 5 バイオマス発電	0PJ	47	47	47	3.6%
○ 6 太陽熱利用	1PJ	24	30	14	6.5%
○ 7 地熱利用	0PJ	33	34	34	0.9%
○ 8 バイオマス熱利用	0PJ	46	47	46	1.4%
合計(供給量)	10PJ	45			
再生可能エネルギー自給率			6.6%	再エネ自給率ランク	44
食料自給率			11.2%	食料自給率ランク	42
供給密度(TJ/km ²)			2.165	供給密度ランク	40
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				151PJ	
区域面積				4,585km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	183.2%	1	木津川市	89.7	☆1	与謝郡伊根町	204.3%
☆2	相楽郡笠置町	116.4%	2	城陽市	11.4	☆2	船井郡京丹波町	135.2%
3	船井郡京丹波町	87.7%	3	向日市	10.9	☆3	京丹後市	101.5%
4	綴喜郡宇治田原町	56.9%	4	長岡京市	9.6	4	南丹市	91.8%
5	南丹市	32.1%	5	相楽郡精華町	9.4	5	綾部市	83.3%
6	綾部市	27.5%	6	八幡市	8.1	6	与謝郡与謝野町	62.7%
7	相楽郡和束町	17.9%	7	京田辺市	7.4	7	相楽郡南山城村	55.6%
8	亀岡市	16.7%	8	宇治市	6.7	8	宮津市	42.3%
9	京丹後市	16.5%	9	久世郡久御山町	5.8	9	福知山市	36.8%
10	木津川市	15.5%	10	綴喜郡宇治田原町	4.3	10	亀岡市	35.4%

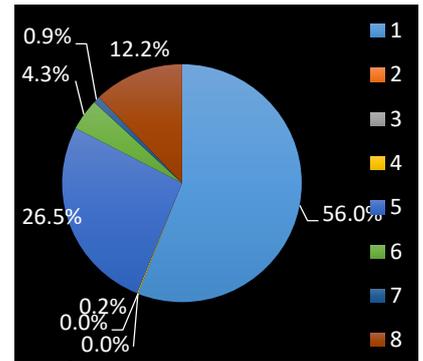
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

2022年度 29PJ 対前年度比 105.1%

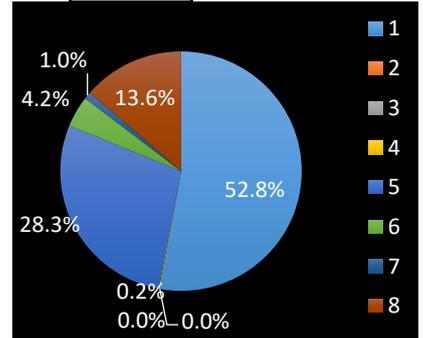


再生可能エネルギー供給状況

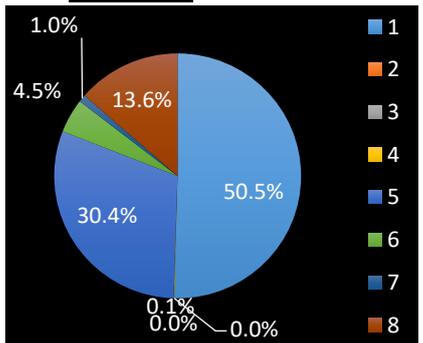
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 28PJ 対前年度比 107.2%



2020年度 26PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	16PJ	23	45	2	56.0%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	45	46	44	0.2%
◎ 5 バイオマス発電	8PJ	4	29	3	26.5%
6 太陽熱利用	1PJ	8	37	1	4.3%
7 地熱利用	0PJ	21	35	7	0.9%
○ 8.バイオマス熱利用	4PJ	5	29	1	12.2%
合計(供給量)	29PJ	26			
再生可能エネルギー自給率			5.8%	再エネ自給率ランク	46
食料自給率			1.3%	食料自給率ランク	46
供給密度(TJ/km ²)			15.376	供給密度ランク	1
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				504PJ	
区域面積				1,905km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	64.1%	1	泉大津市	39.0	☆1	豊能郡能勢町	101.8%
2	豊能郡能勢町	24.8%	2	大阪市	36.6	2	南河内郡河南町	41.8%
3	泉南市	19.6%	3	豊中市	35.3	3	南河内郡千早赤阪村	25.3%
4	豊能郡豊能町	18.8%	4	八尾市	27.7	4	南河内郡太子町	10.4%
5	南河内郡千早赤阪村	18.2%	5	寝屋川市	26.9	5	豊能郡豊能町	10.0%
6	南河内郡河南町	18.1%	6	堺市	23.3	6	泉南郡岬町	8.2%
7	柏原市	15.8%	7	東大阪市	22.0	7	阪南市	8.0%
8	四條畷市	15.4%	8	吹田市	19.8	8	泉佐野市	6.8%
9	泉大津市	14.7%	9	四條畷市	19.3	9	泉南市	6.6%
10	和泉市	14.0%	10	柏原市	18.9	10	岸和田市	6.4%

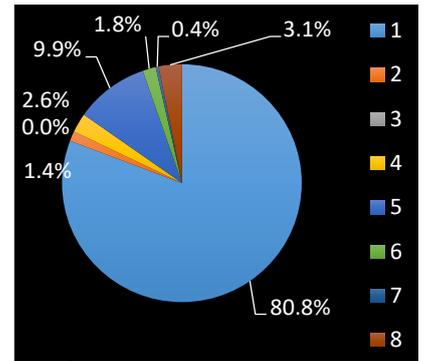
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

兵庫県

2022年度 **52PJ** 対前年度比 109.5%



再生可能エネルギー供給状況

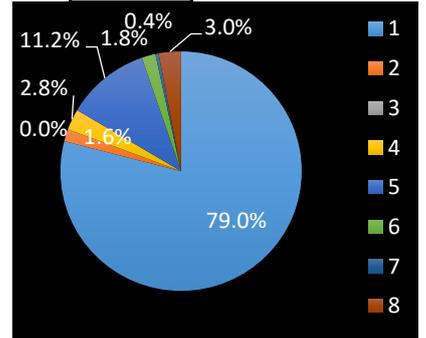
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

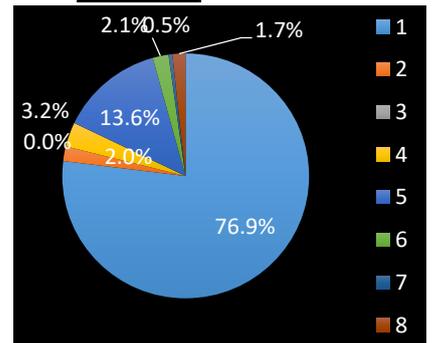
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	42PJ	3	27	11	80.8%
○ 2 風力発電	1PJ	23	27	28	1.4%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	32	39	37	2.6%
5 バイオマス発電	5PJ	8	26	10	9.9%
6 太陽熱利用	1PJ	12	31	24	1.8%
7 地熱利用	0PJ	28	31	31	0.4%
8.バイオマス熱利用	2PJ	17	33	22	3.1%
合計(供給量)	52PJ	6			
再生可能エネルギー自給率			19.9%	再エネ自給率ランク	32
食料自給率			14.6%	食料自給率ランク	39
供給密度(TJ/km ²)			6.131	供給密度ランク	15
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				258PJ	
区域面積				8,401km ²	

2021年度 **47PJ** 対前年度比 113.4%



2020年度 **41PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	赤穂郡上郡町	365.0%	1	尼崎市	34.5	☆1	南あわじ市	127.7%
☆2	淡路市	160.5%	2	明石市	27.3	☆2	丹波篠山市	109.6%
☆3	佐用郡佐用町	132.8%	3	加古郡稲美町	23.5	3	美方郡新温泉町	96.9%
☆4	赤穂市	107.5%	4	加古郡播磨町	21.2	4	加西市	93.3%
☆5	加西市	102.2%	5	高砂市	19.1	5	佐用郡佐用町	91.9%
6	神崎郡神河町	97.3%	6	赤穂市	16.9	6	丹波市	88.7%
7	丹波市	95.1%	7	淡路市	16.9	7	美方郡香美町	81.2%
8	南あわじ市	93.8%	8	西宮市	16.8	8	加東市	78.2%
9	多可郡多可町	91.1%	9	赤穂郡上郡町	15.5	9	豊岡市	75.8%
10	宍粟市	82.0%	10	加古川市	14.8	10	淡路市	74.0%

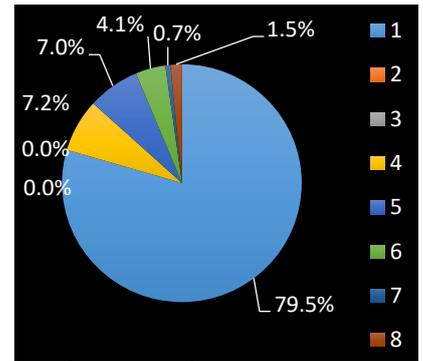
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

奈良県

2022年度 10PJ 対前年度比 108.0%

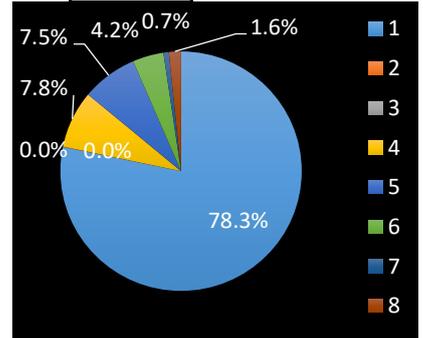


再生可能エネルギー供給状況

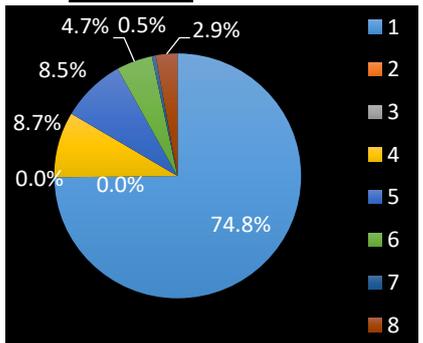
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 9PJ 対前年度比 112.7%



2020年度 8PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	36	30	31	79.5%
2 風力発電	0PJ	39	39	39	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	39	31	32	7.2%
5 バイオマス発電	1PJ	41	38	38	7.0%
6 太陽熱利用	0PJ	31	22	23	4.1%
7 地熱利用	0PJ	35	28	35	0.7%
8.バイオマス熱利用	0PJ	45	45	43	1.5%
合計(供給量)	10PJ	44			
再生可能エネルギー自給率			16.5%	再エネ自給率ランク	36
食料自給率			13.6%	食料自給率ランク	41
供給密度(TJ/km ²)			2.732	供給密度ランク	38
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			61PJ		
区域面積			3,691km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	262.2%	1	吉野郡大淀町	19.1	☆1	宇陀郡御杖村	109.4%
☆2	吉野郡吉野町	228.6%	2	橿原市	14.4	2	五條市	86.1%
3	吉野郡大淀町	98.9%	3	生駒郡安堵町	14.3	3	山辺郡山添村	77.4%
4	山辺郡山添村	70.6%	4	大和高田市	13.3	4	宇陀郡曾爾村	64.3%
5	五條市	51.5%	5	香芝市	13.3	5	高市郡明日香村	61.2%
6	宇陀郡御杖村	44.1%	6	北葛城郡王寺町	12.4	6	宇陀市	49.1%
7	御所市	42.3%	7	北葛城郡広陵町	11.8	7	御所市	43.9%
8	宇陀市	37.7%	8	北葛城郡上牧町	11.8	8	磯城郡田原本町	34.8%
9	吉野郡下市町	35.0%	9	磯城郡三宅町	11.6	9	磯城郡三宅町	33.6%
10	高市郡高取町	34.3%	10	磯城郡川西町	11.2	10	高市郡高取町	31.8%

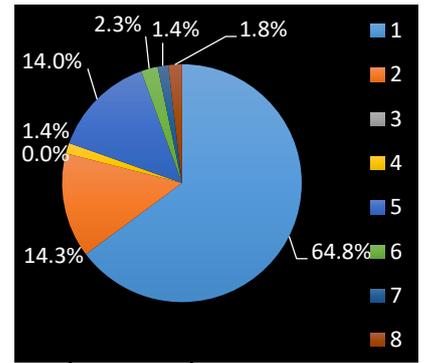
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

2022年度 19PJ 対前年度比 116.3%

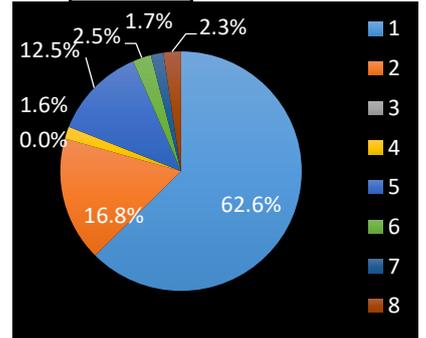


再生可能エネルギー供給状況

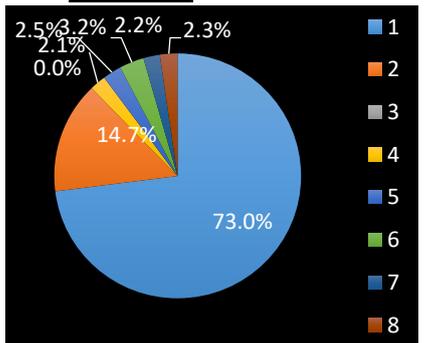
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 16PJ 対前年度比 129.5%



2020年度 12PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	28	12	27	64.8%
○ 2 風力発電	3PJ	10	4	4	14.3%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	42	38	43	1.4%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	19	2	11	14.0%
6 太陽熱利用	0PJ	30	13	30	2.3%
7 地熱利用	0PJ	24	14	19	1.4%
8.バイオマス熱利用	0PJ	41	28	38	1.8%
合計(供給量)	19PJ	32			
再生可能エネルギー自給率			38.9%	再エネ自給率ランク	13
食料自給率			27.1%	食料自給率ランク	33
供給密度(TJ/km ²)			3.916	供給密度ランク	26
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				48PJ	
区域面積				4,725km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡日高川町	370.7%	1	西牟婁郡上富田町	38.0	☆1	日高郡みなべ町	145.0%
☆2	西牟婁郡上富田町	293.5%	2	岩出市	18.1	2	有田郡広川町	83.6%
☆3	西牟婁郡すさみ町	163.1%	3	有田市	17.5	3	有田郡有田川町	83.4%
☆4	有田郡広川町	158.6%	4	和歌山市	14.4	4	日高郡日高町	80.5%
☆5	日高郡印南町	128.6%	5	日高郡美浜町	10.2	5	日高郡印南町	77.8%
☆6	有田郡有田川町	123.4%	6	日高郡由良町	7.8	6	日高郡日高川町	73.0%
☆7	日高郡由良町	108.6%	7	有田郡広川町	7.3	7	伊都郡かつらぎ町	60.7%
8	新宮市	93.4%	8	御坊市	7.1	8	有田郡湯浅町	56.3%
9	西牟婁郡白浜町	59.8%	9	新宮市	6.1	9	紀の川市	55.0%
10	日高郡日高町	50.2%	10	日高郡日高川町	5.6	10	伊都郡九度山町	53.3%

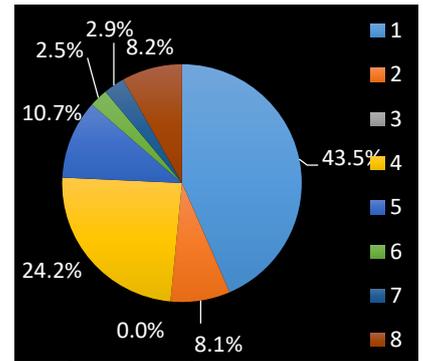
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

2022年度 11PJ 対前年度比 106.3%

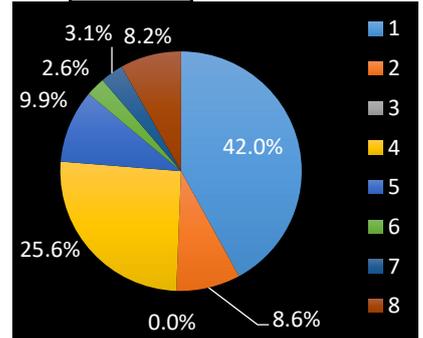


再生可能エネルギー供給状況

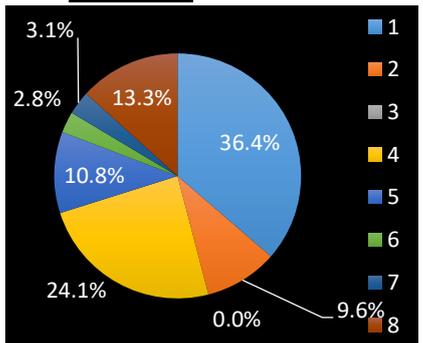
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 10PJ 対前年度比 107.2%



2020年度 10PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	41	28	37	43.5%
2 風力発電	1PJ	22	14	16	8.1%
3 地熱発電	0PJ	12	11	12	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	22	3	6	24.2%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	34	9	21	10.7%
6 太陽熱利用	0PJ	37	14	33	2.5%
7 地熱利用	0PJ	20	7	12	2.9%
8.バイオマス熱利用	1PJ	26	4	14	8.2%
合計(供給量)	11PJ	43			
再生可能エネルギー自給率			34.5%	再エネ自給率ランク	18
食料自給率			57.0%	食料自給率ランク	15
供給密度(TJ/km ²)			3.121	供給密度ランク	34
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				32PJ	
区域面積				3,507km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	371.6%	1	境港市	40.1	☆1	日野郡日南町	307.8%
☆2	西伯郡伯耆町	144.4%	2	米子市	15.9	☆2	日野郡江府町	189.4%
☆3	西伯郡大山町	110.8%	3	東伯郡北栄町	5.9	☆3	西伯郡大山町	188.3%
4	東伯郡三朝町	90.9%	4	西伯郡伯耆町	5.2	☆4	境港市	147.7%
5	日野郡江府町	79.9%	5	西伯郡大山町	4.4	☆5	東伯郡琴浦町	122.9%
6	八頭郡八頭町	63.7%	6	西伯郡日吉津村	3.2	☆6	西伯郡伯耆町	118.9%
7	東伯郡琴浦町	54.8%	7	東伯郡琴浦町	3.1	☆7	東伯郡北栄町	111.3%
8	境港市	48.6%	8	鳥取市	3.1	☆8	岩美郡岩美町	110.5%
9	東伯郡北栄町	46.3%	9	東伯郡湯梨浜町	3.1	☆9	八頭郡八頭町	102.4%
10	日野郡日南町	41.0%	10	八頭郡若桜町	3.1	10	日野郡日野町	98.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

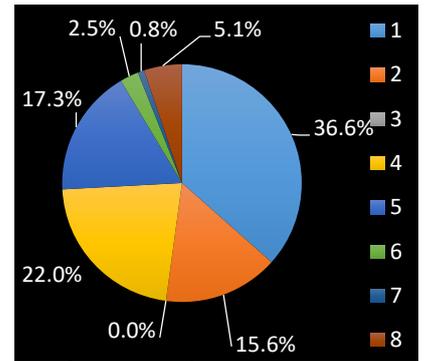
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

島根県

2022年度 13PJ 対前年度比 102.2%

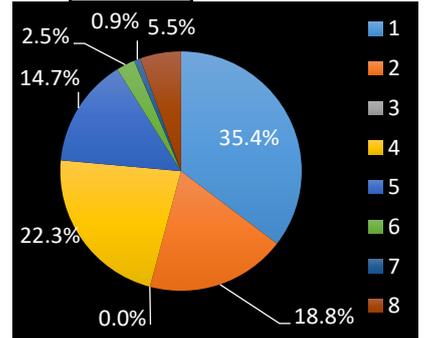


再生可能エネルギー供給状況

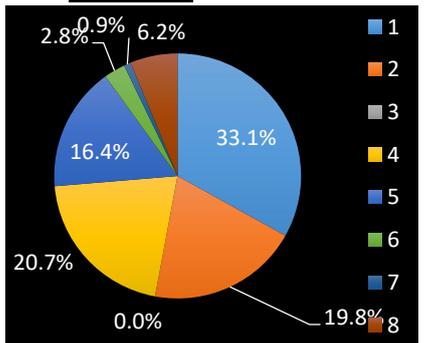
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 13PJ 対前年度比 110.3%



2020年度 11PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	42	35	43	36.6%
○ 2 風力発電	2PJ	13	6	12	15.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	20	10	17	22.0%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	25	4	23	17.3%
6 太陽熱利用	0PJ	34	21	35	2.5%
7 地熱利用	0PJ	32	24	36	0.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	33	17	34	5.1%
合計(供給量)	13PJ	41			
再生可能エネルギー自給率			28.0%	再エネ自給率ランク 24	
食料自給率			57.7%	食料自給率ランク 16	
供給密度(TJ/km ²)			1.929	供給密度ランク 43	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				46PJ	
区域面積				6,708km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	160.7%	1	江津市	8.4	☆1	隠岐郡西ノ島町	410.3%
☆2	鹿足郡津和野町	144.3%	2	松江市	4.1	☆2	飯石郡飯南町	311.0%
3	邑智郡邑南町	74.9%	3	出雲市	4.0	☆3	隠岐郡隠岐の島町	228.0%
4	雲南市	54.1%	4	鹿足郡津和野町	2.3	☆4	仁多郡奥出雲町	227.6%
5	邑智郡美郷町	41.5%	5	雲南市	2.1	☆5	邑智郡邑南町	186.3%
6	浜田市	35.1%	6	浜田市	2.0	☆6	鹿足郡吉賀町	130.7%
7	仁多郡奥出雲町	32.7%	7	隠岐郡海士町	1.5	☆7	安来市	103.1%
8	鹿足郡吉賀町	26.6%	8	邑智郡邑南町	1.3	8	大田市	89.2%
9	隠岐郡海士町	26.1%	9	安来市	1.3	9	鹿足郡津和野町	89.0%
10	安来市	26.0%	10	益田市	1.0	10	邑智郡美郷町	87.8%

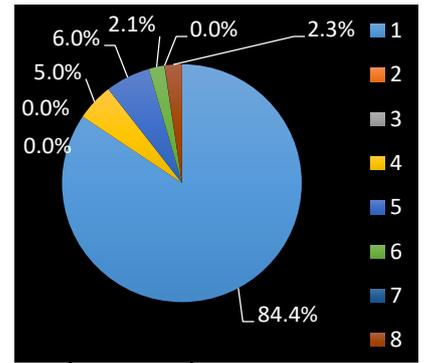
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

2022年度 39PJ 対前年度比 108.6%



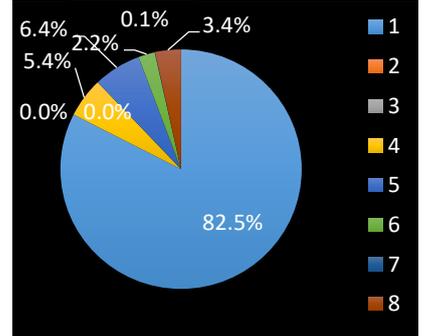
再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

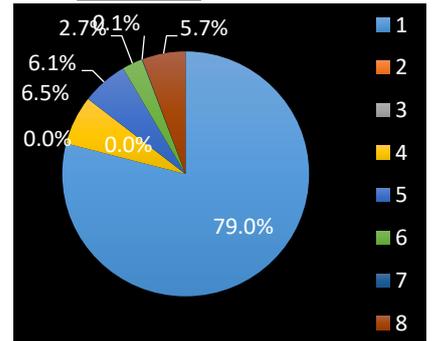
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	33PJ	9	5	13	84.4%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	2PJ	25	26	27	5.0%
5 バイオマス発電	2PJ	21	17	22	6.0%
6 太陽熱利用	1PJ	15	12	20	2.1%
7 地熱利用	0PJ	43	42	43	0.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	25	25	29	2.3%
合計(供給量)	39PJ	15			
再生可能エネルギー自給率			41.3%	再エネ自給率ランク 11	
食料自給率			32.6%	食料自給率ランク 28	
供給密度(TJ/km ²)			5.542	供給密度ランク 18	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				95PJ	
区域面積				7,107km ²	

2021年度 36PJ 対前年度比 120.9%



2020年度 30PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	美作市	310.4%	1	瀬戸内市	25.8	☆1	真庭郡新庄村	208.4%
☆2	和気郡和気町	278.7%	2	都窪郡早島町	23.7	☆2	加賀郡吉備中央町	202.9%
☆3	久米郡久米南町	257.2%	3	倉敷市	12.0	☆3	勝田郡奈義町	164.5%
☆4	久米郡美咲町	244.5%	4	和気郡和気町	11.6	☆4	久米郡久米南町	144.3%
☆5	勝田郡奈義町	225.4%	5	笠岡市	10.9	☆5	苫田郡鏡野町	136.4%
☆6	瀬戸内市	183.4%	6	玉野市	9.9	☆6	久米郡美咲町	116.6%
☆7	苫田郡鏡野町	159.7%	7	勝田郡奈義町	9.7	☆7	勝田郡勝央町	115.2%
☆8	真庭市	144.0%	8	浅口市	9.6	☆8	真庭市	100.5%
☆9	加賀郡吉備中央町	117.3%	9	浅口郡里庄町	9.5	☆9	美作市	100.1%
10	新見市	97.6%	10	美作市	8.9	10	英田郡西粟倉村	94.2%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

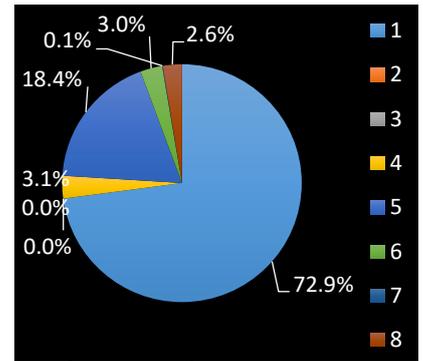
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

広島県

2022年度 35PJ 対前年度比 113.5%

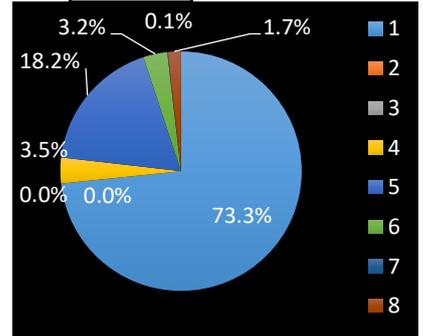


再生可能エネルギー供給状況

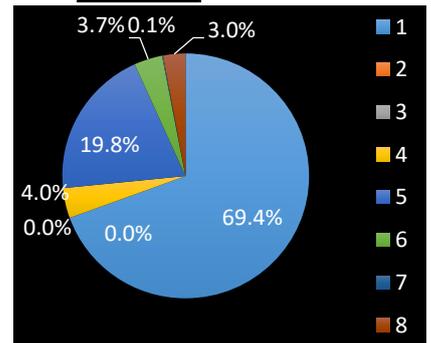
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 30PJ 対前年度比 115.2%



2020年度 26PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25PJ	16	24	24	72.9%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	34	35	39	3.1%
○ 5 バイオマス発電	6PJ	5	6	8	18.4%
6 太陽熱利用	1PJ	10	23	18	3.0%
7 地熱利用	0PJ	41	43	42	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	27	34	32	2.6%
合計(供給量)	35PJ	19			
再生可能エネルギー自給率			22.7%	再エネ自給率ランク	29
食料自給率			19.6%	食料自給率ランク	36
供給密度(TJ/km ²)			4.073	供給密度ランク	23
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				152PJ	
区域面積				8,480km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	山県郡北広島町	121.1%	1	安芸郡海田町	27.1	☆1	世羅郡世羅町	274.4%
2	神石郡神石高原町	90.0%	2	安芸郡府中町	24.1	☆2	山県郡北広島町	241.9%
3	庄原市	78.4%	3	呉市	14.4	☆3	庄原市	222.7%
4	三次市	78.0%	4	安芸郡熊野町	8.3	☆4	神石郡神石高原町	185.5%
5	安芸高田市	74.8%	5	福山市	7.6	☆5	安芸高田市	179.6%
6	世羅郡世羅町	71.1%	6	東広島市	6.5	☆6	三次市	125.0%
7	廿日市市	53.3%	7	廿日市市	5.9	7	江田島市	84.9%
8	呉市	46.9%	8	尾道市	5.7	8	山県郡安芸太田町	64.3%
9	豊田郡大崎上島町	46.2%	9	広島市	5.0	9	三原市	49.0%
10	三原市	41.7%	10	豊田郡大崎上島町	4.4	10	東広島市	33.5%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

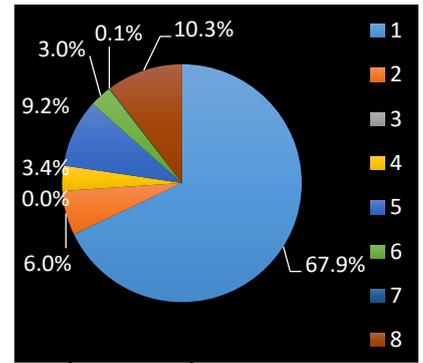
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

2022年度 28PJ 対前年度比 118.1%

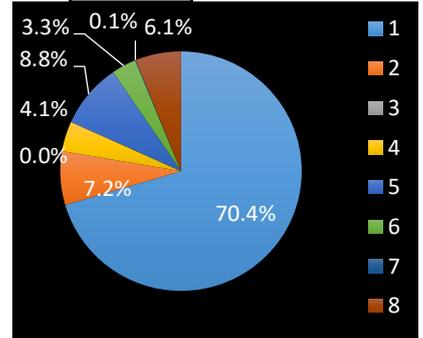


再生可能エネルギー供給状況

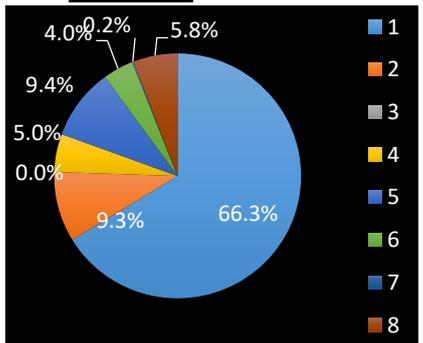
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 24PJ 対前年度比 122.9%



2020年度 19PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19PJ	22	13	20	67.9%
2 風力発電	2PJ	16	16	14	6.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	37	30	38	3.4%
5 バイオマス発電	3PJ	20	12	15	9.2%
6 太陽熱利用	1PJ	16	5	16	3.0%
7 地熱利用	0PJ	42	37	41	0.1%
○ 8.バイオマス熱利用	3PJ	7	1	10	10.3%
合計(供給量)	28PJ	27			
再生可能エネルギー自給率			36.7%	再エネ自給率ランク 16	
食料自給率			28.3%	食料自給率ランク 32	
供給密度(TJ/km ²)			4.568	供給密度ランク 22	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			76PJ		
区域面積			6,113km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	熊毛郡平生町	143.0%	1	熊毛郡平生町	23.5	☆1	阿武郡阿武町	234.3%
☆2	美祢市	128.2%	2	山陽小野田市	14.6	☆2	美祢市	126.0%
3	柳井市	82.3%	3	防府市	11.6	3	萩市	80.1%
4	山陽小野田市	62.8%	4	下松市	10.7	4	長門市	79.0%
5	熊毛郡田布施町	62.3%	5	柳井市	10.6	5	山口市	49.5%
6	岩国市	44.1%	6	宇部市	9.2	6	大島郡周防大島町	36.3%
7	防府市	38.6%	7	熊毛郡田布施町	7.3	7	柳井市	36.0%
8	大島郡周防大島町	37.0%	8	下関市	6.1	8	熊毛郡田布施町	29.2%
9	下松市	32.7%	9	光市	5.8	9	下関市	27.2%
10	周南市	31.2%	10	周南市	4.3	10	山陽小野田市	20.9%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

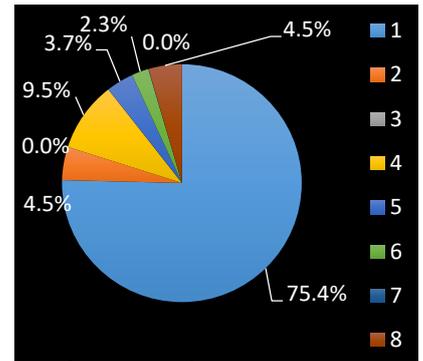
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

徳島県

2022年度 15PJ 対前年度比 108.5%

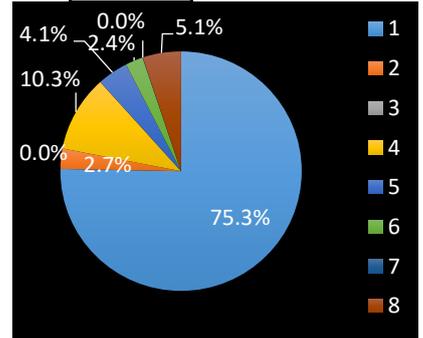


再生可能エネルギー供給状況

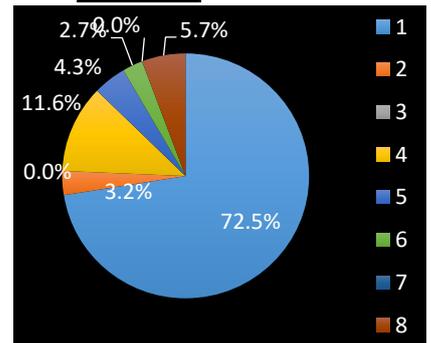
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 14PJ 対前年度比 112.0%



2020年度 13PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	31	9	25	75.4%
○ 2 風力発電	1PJ	24	18	22	4.5%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	30	21	24	9.5%
5 バイオマス発電	1PJ	44	34	42	3.7%
6 太陽熱利用	0PJ	33	15	31	2.3%
7 地熱利用	0PJ	47	47	47	0.0%
8. バイオマス熱利用	1PJ	31	12	23	4.5%
合計(供給量)	15PJ	35			
再生可能エネルギー自給率			36.4%	再エネ自給率ランク 17	
食料自給率			33.6%	食料自給率ランク 27	
供給密度(TJ/km ²)			3.736	供給密度ランク 27	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				43PJ	
区域面積				4,147km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	名東郡佐那河内村	451.4%	1	小松島市	31.8	☆1	阿波市	120.0%
☆2	勝浦郡上勝町	373.9%	2	板野郡北島町	21.8	2	勝浦郡勝浦町	84.2%
☆3	阿波市	131.3%	3	板野郡松茂町	14.1	3	海部郡海陽町	77.5%
☆4	三好市	123.7%	4	板野郡藍住町	12.9	4	名東郡佐那河内村	70.5%
5	美馬市	77.4%	5	板野郡上板町	11.6	5	板野郡上板町	64.1%
6	板野郡上板町	76.1%	6	名西郡石井町	11.3	6	阿南市	55.5%
7	阿南市	53.4%	7	阿波市	11.2	7	板野郡板野町	54.1%
8	吉野川市	51.8%	8	徳島市	10.0	8	小松島市	50.8%
9	小松島市	51.1%	9	名東郡佐那河内村	9.2	9	美馬市	49.6%
10	美馬郡つるぎ町	48.5%	10	鳴門市	7.7	10	板野郡松茂町	47.7%

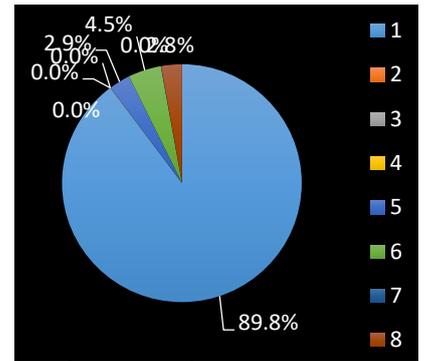
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

2022年度 **14PJ** 対前年度比 106.2%



再生可能エネルギー供給状況

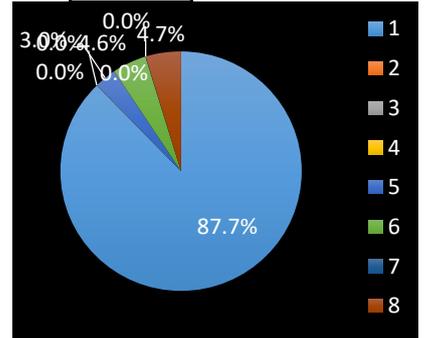
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

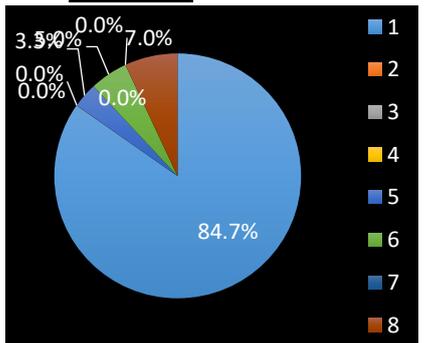
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	27	15	6	89.8%
2 風力発電	0PJ	38	38	38	0.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	47	47	47	0.0%
5 バイオマス発電	0PJ	46	45	32	2.9%
6 太陽熱利用	1PJ	25	4	7	4.5%
7 地熱利用	0PJ	46	46	46	0.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	39	30	17	2.8%
合計(供給量)	14PJ	40			
再生可能エネルギー自給率			24.4%	再エネ自給率ランク 28	
食料自給率			30.7%	食料自給率ランク 30	
供給密度(TJ/km ²)			7.438	供給密度ランク 11	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				57PJ	
区域面積				1,877km ²	

2021年度 **13PJ** 対前年度比 109.6%



2020年度 **12PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	仲多度郡まんのう町	89.1%	1	綾歌郡宇多津町	19.4	☆1	仲多度郡まんのう町	117.7%
2	三豊市	57.9%	2	坂出市	11.7	2	綾歌郡綾川町	88.6%
3	さぬき市	44.0%	3	高松市	10.9	3	三豊市	67.2%
4	綾歌郡綾川町	37.7%	4	丸亀市	10.2	4	さぬき市	60.3%
5	小豆郡小豆島町	36.9%	5	仲多度郡多度津町	8.9	5	観音寺市	57.7%
6	東かがわ市	36.4%	6	観音寺市	8.6	6	東かがわ市	57.4%
7	木田郡三木町	35.0%	7	三豊市	8.3	7	香川郡直島町	54.5%
8	坂出市	33.4%	8	善通寺市	8.1	8	木田郡三木町	51.7%
9	観音寺市	31.4%	9	仲多度郡琴平町	7.2	9	仲多度郡琴平町	36.0%
10	丸亀市	20.4%	10	さぬき市	7.0	10	善通寺市	34.4%

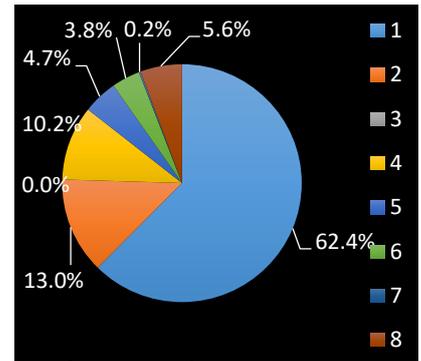
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛媛県

2022年度 21PJ 対前年度比 103.5%

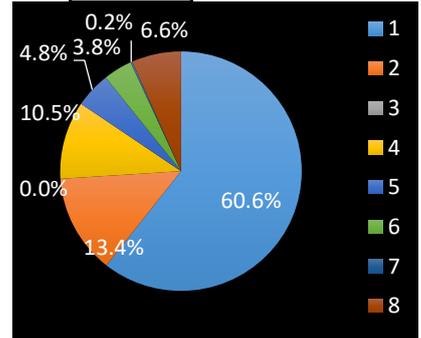


再生可能エネルギー供給状況

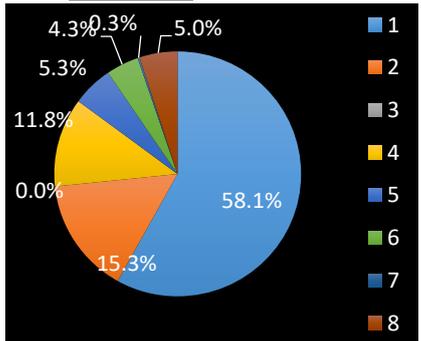
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 20PJ 対前年度比 111.9%



2020年度 18PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	24	21	30	62.4%
○ 2 風力発電	3PJ	9	8	7	13.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	2PJ	24	24	23	10.2%
5 バイオマス発電	1PJ	37	36	39	4.7%
6 太陽熱利用	1PJ	18	6	15	3.8%
7 地熱利用	0PJ	38	33	39	0.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	23	15	18	5.6%
合計(供給量)	21PJ	30			
再生可能エネルギー自給率			27.5%	再エネ自給率ランク	26
食料自給率			34.2%	食料自給率ランク	26
供給密度(TJ/km ²)			3.630	供給密度ランク	29
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				75PJ	
区域面積				5,676km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	280.7%	1	西宇和郡伊方町	16.3	☆1	南宇和郡愛南町	250.8%
☆2	上浮穴郡久万高原町	179.8%	2	伊予郡松前町	14.7	☆2	西予市	119.9%
3	西条市	55.3%	3	新居浜市	10.6	☆3	上浮穴郡久万高原町	109.3%
4	南宇和郡愛南町	51.9%	4	松山市	9.0	☆4	北宇和郡松野町	106.8%
5	西予市	47.3%	5	西条市	5.9	☆5	西宇和郡伊方町	103.6%
6	新居浜市	38.1%	6	今治市	5.7	6	北宇和郡鬼北町	96.5%
7	北宇和郡松野町	36.4%	7	南宇和郡愛南町	3.0	7	宇和島市	89.3%
8	今治市	30.2%	8	宇和島市	2.4	8	八幡浜市	70.8%
9	北宇和郡鬼北町	30.1%	9	四国中央市	2.3	9	西条市	62.7%
10	大洲市	25.7%	10	越智郡上島町	2.2	10	喜多郡内子町	51.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

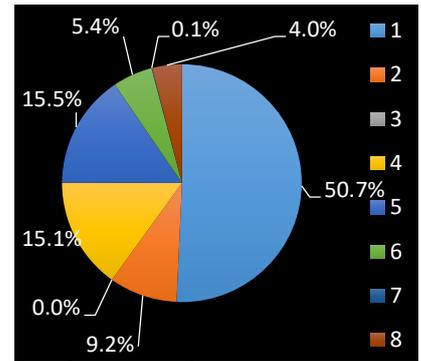
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

高知県

2022年度 14PJ 対前年度比 105.4%

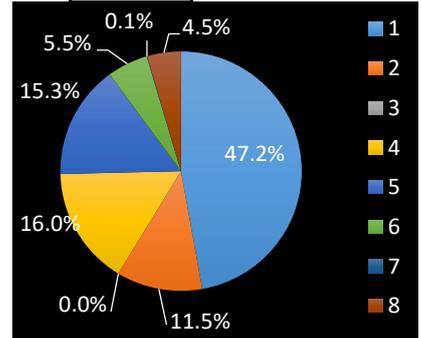


再生可能エネルギー供給状況

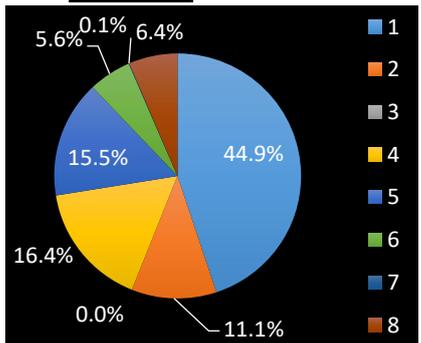
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 14PJ 対前年度比 103.2%



2020年度 13PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7PJ	39	23	39	50.7%
2 風力発電	1PJ	17	12	20	9.2%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
○ 4 小水力発電	2PJ	23	13	26	15.1%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	26	3	25	15.5%
6 太陽熱利用	1PJ	20	2	25	5.4%
7 地熱利用	0PJ	44	40	45	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	37	19	37	4.0%
合計(供給量)	14PJ	38			
再生可能エネルギー自給率			33.3%	再エネ自給率ランク 20	
食料自給率			41.0%	食料自給率ランク 23	
供給密度(TJ/km ²)			2,013	供給密度ランク 41	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				43PJ	
区域面積				7,104km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	長岡郡大豊町	227.0%	1	高知市	11.6	☆1	幡多郡大月町	257.7%
☆2	幡多郡大月町	224.1%	2	幡多郡大月町	9.0	☆2	幡多郡三原村	210.3%
☆3	吾川郡仁淀川町	218.8%	3	南国市	5.5	☆3	高岡郡四万十町	163.4%
☆4	高岡郡檮原町	150.0%	4	土佐市	5.1	☆4	安芸郡北川村	142.8%
☆5	高岡郡津野町	102.1%	5	高岡郡佐川町	3.8	☆5	土佐郡土佐町	140.3%
6	香美市	95.2%	6	安芸郡田野町	3.1	☆6	幡多郡黒潮町	137.0%
7	長岡郡本山町	70.5%	7	安芸郡芸西村	3.1	☆7	安芸郡安田町	122.0%
8	高岡郡佐川町	66.7%	8	安芸郡奈半利町	2.9	☆8	安芸郡東洋町	115.6%
9	宿毛市	62.9%	9	高岡郡日高村	2.8	☆9	高岡郡中土佐町	105.0%
10	室戸市	61.8%	10	香美市	2.8	10	宿毛市	95.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

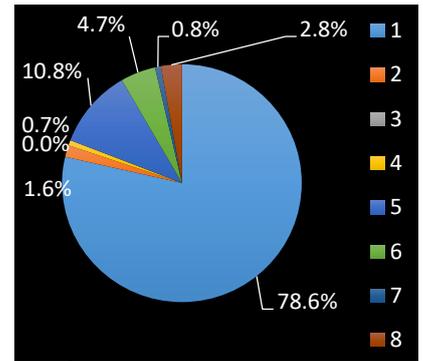
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福岡県

2022年度 42PJ 対前年度比 109.3%

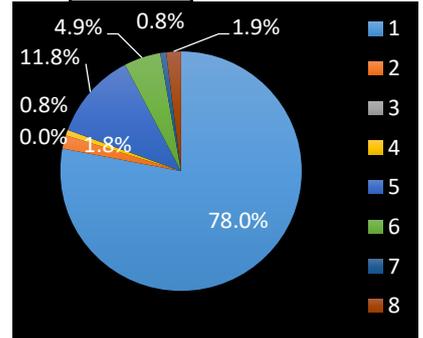


再生可能エネルギー供給状況

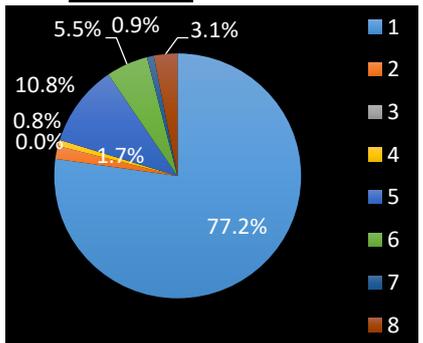
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 39PJ 対前年度比 112.1%



2020年度 34PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	33PJ	10	31	8	78.6%
2 風力発電	1PJ	26	28	25	1.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	41	42	41	0.7%
○ 5 バイオマス発電	5PJ	10	27	7	10.8%
6 太陽熱利用	2PJ	2	17	6	4.7%
7 地熱利用	0PJ	19	27	17	0.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	22	42	15	2.8%
合計(供給量)	42PJ	12			
再生可能エネルギー自給率			16.1%	再エネ自給率ランク	38
食料自給率			18.7%	食料自給率ランク	37
供給密度(TJ/km ²)			8.244	供給密度ランク	9
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				263PJ	
区域面積				5,127km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	京都郡みやこ町	166.9%	1	春日市	51.7	☆1	築上郡上毛町	194.6%
☆2	田川郡川崎町	132.5%	2	田川郡川崎町	24.1	☆2	みやま市	163.0%
☆3	田川郡赤村	125.9%	3	田川郡糸田町	18.9	☆3	朝倉郡筑前町	144.4%
☆4	築上郡上毛町	120.6%	4	大牟田市	18.9	☆4	柳川市	132.8%
☆5	嘉麻市	110.2%	5	朝倉郡筑前町	17.3	☆5	田川郡赤村	131.2%
6	宮若市	84.7%	6	鞍手郡小竹町	17.2	☆6	築上郡築上町	130.1%
7	鞍手郡小竹町	82.5%	7	糟屋郡志免町	15.8	☆7	京都郡みやこ町	126.6%
8	田川郡大任町	82.0%	8	筑後市	15.0	☆8	三潁郡大木町	124.8%
9	朝倉郡筑前町	71.7%	9	糟屋郡粕屋町	14.3	☆9	朝倉市	114.5%
10	嘉穂郡桂川町	61.4%	10	嘉穂郡桂川町	14.0	☆10	三井郡大刀洗町	111.5%

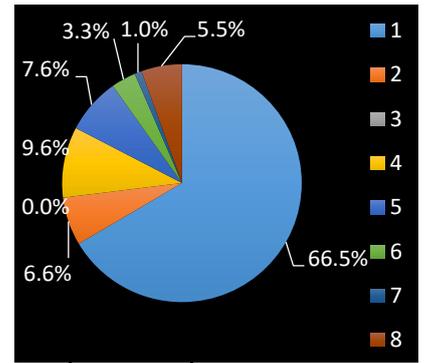
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

佐賀県

2022年度 15PJ 対前年度比 106.8%

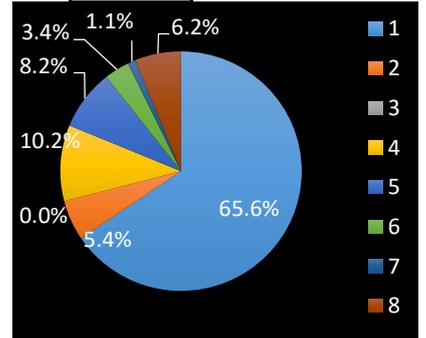


再生可能エネルギー供給状況

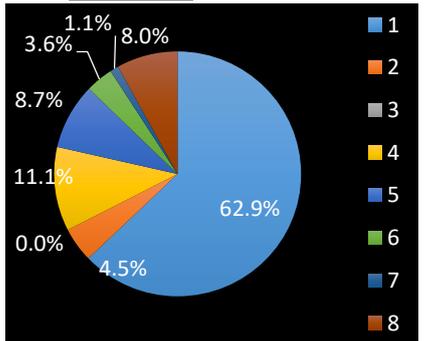
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 14PJ 対前年度比 108.4%



2020年度 13PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	33	17	15	66.5%
○ 2 風力発電	1PJ	19	17	9	6.6%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	1PJ	31	22	13	9.6%
5 バイオマス発電	1PJ	36	18	14	7.6%
6 太陽熱利用	0PJ	28	7	9	3.3%
7 地熱利用	0PJ	30	22	18	1.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	29	11	12	5.5%
合計(供給量)	15PJ	36			
再生可能エネルギー自給率			31.4%	再生エネ自給率ランク	21
食料自給率			91.1%	食料自給率ランク	7
供給密度(TJ/km ²)			6.099	供給密度ランク	16
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				47PJ	
区域面積				2,441km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	伊万里市	64.4%	1	三養基郡上峰町	17.0	☆1	杵島郡白石町	460.8%
2	藤津郡太良町	59.8%	2	杵島郡大町町	11.2	☆2	神崎市	193.0%
3	多久市	50.3%	3	鳥栖市	9.3	☆3	杵島郡江北町	177.0%
4	神崎市	49.8%	4	佐賀市	8.3	☆4	藤津郡太良町	159.5%
5	東松浦郡玄海町	47.4%	5	伊万里市	7.6	☆5	小城市	157.8%
6	三養基郡上峰町	47.0%	6	三養基郡みやき町	7.6	☆6	東松浦郡玄海町	150.9%
7	唐津市	45.7%	7	三養基郡基山町	6.6	☆7	三養基郡みやき町	135.1%
8	嬉野市	44.5%	8	神崎市	6.6	☆8	鹿島市	108.1%
9	武雄市	37.6%	9	唐津市	5.8	9	三養基郡上峰町	95.6%
10	杵島郡大町町	37.3%	10	嬉野市	5.4	10	神埼郡吉野ヶ里町	88.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

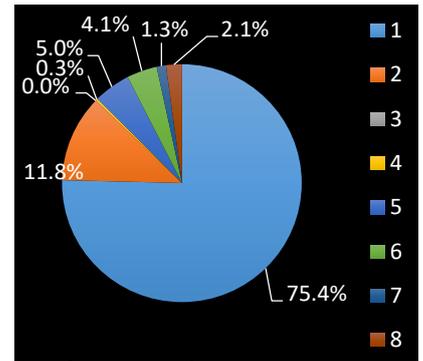
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

2022年度 17PJ 対前年度比 104.0%

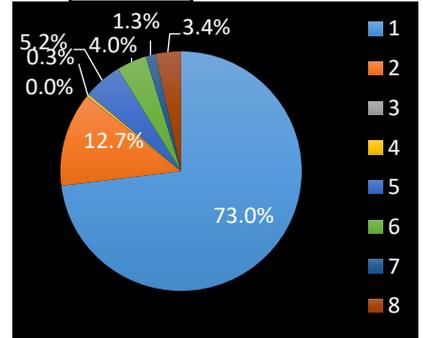


再生可能エネルギー供給状況

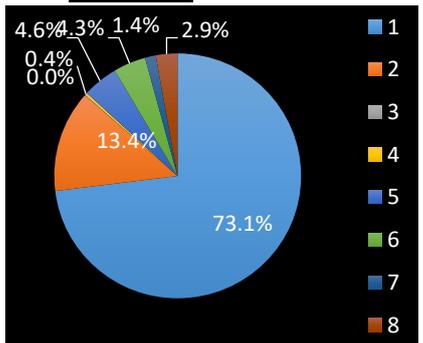
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 16PJ 対前年度比 106.6%



2020年度 15PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	26	26	21	75.4%
○ 2 風力発電	2PJ	14	15	6	11.8%
3 地熱発電	0PJ	10	9	9	0.0%
4 小水力発電	0PJ	44	43	45	0.3%
5 バイオマス発電	1PJ	40	39	36	5.0%
6 太陽熱利用	1PJ	23	11	13	4.1%
7 地熱利用	0PJ	26	23	22	1.3%
8.バイオマス熱利用	0PJ	40	41	36	2.1%
合計(供給量)	17PJ	33			
再生可能エネルギー自給率			21.7%	再エネ自給率ランク 30	
食料自給率			35.5%	食料自給率ランク 25	
供給密度(TJ/km ²)			4.070	供給密度ランク 24	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				78PJ	
区域面積				4,131km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	東彼杵郡東彼杵町	56.9%	1	西彼杵郡時津町	18.2	☆1	平戸市	183.9%
2	平戸市	56.1%	2	大村市	12.7	☆2	南松浦郡新上五島町	177.0%
3	西海市	50.7%	3	北松浦郡佐々町	7.8	☆3	雲仙市	120.4%
4	五島市	44.4%	4	諫早市	7.4	4	北松浦郡小値賀町	84.8%
5	南島原市	43.9%	5	島原市	6.4	5	壱岐市	79.0%
6	北松浦郡佐々町	39.4%	6	長崎市	6.2	6	南島原市	77.3%
7	雲仙市	33.9%	7	佐世保市	5.8	7	松浦市	77.1%
8	大村市	32.1%	8	南島原市	5.7	8	東彼杵郡東彼杵町	72.1%
9	松浦市	28.8%	9	西彼杵郡長与町	5.7	9	五島市	68.6%
10	諫早市	28.4%	10	平戸市	4.9	10	西海市	63.4%

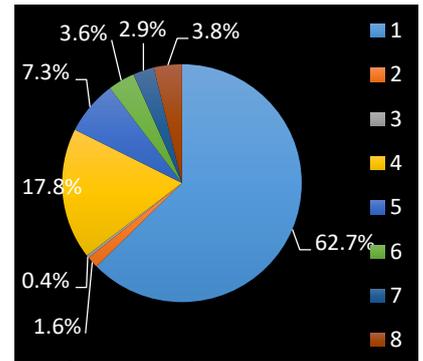
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

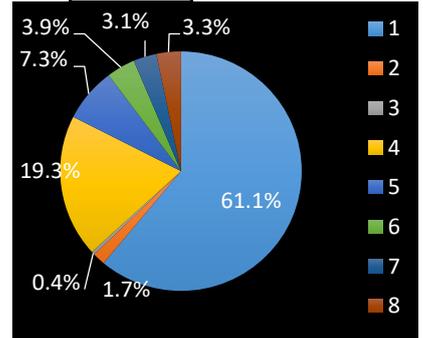
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

熊本県

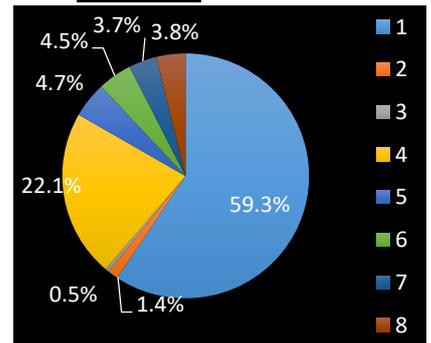
2022年度 40PJ 対前年度比 108.5%



2021年度 37PJ 対前年度比 117.7%



2020年度 31PJ



再生可能エネルギー供給状況

2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25PJ	17	11	18	62.7%
2 風力発電	1PJ	27	24	27	1.6%
3 地熱発電	0PJ	7	7	6	0.4%
○ 4 小水力発電	7PJ	4	6	5	17.8%
5 バイオマス発電	3PJ	17	14	17	7.3%
6 太陽熱利用	1PJ	4	3	8	3.6%
7 地熱利用	1PJ	7	6	5	2.9%
8. バイオマス熱利用	1PJ	19	13	16	3.8%
合計(供給量)	40PJ	14			
再生可能エネルギー自給率			42.5%	再エネ自給率ランク	9
食料自給率			53.2%	食料自給率ランク	18
供給密度(TJ/km ²)			5.565	供給密度ランク	17
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				93PJ	
区域面積				7,135km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡五木村	1315.5%	1	荒尾市	33.3	☆1	阿蘇郡産山村	253.3%
☆2	球磨郡水上村	933.8%	2	菊池郡大津町	24.7	☆2	上益城郡山都町	202.8%
☆3	上益城郡山都町	342.3%	3	合志市	19.7	☆3	阿蘇市	179.5%
☆4	阿蘇郡小国町	288.8%	4	玉名郡長洲町	18.1	☆4	阿蘇郡南阿蘇村	178.8%
☆5	阿蘇郡高森町	253.9%	5	上益城郡益城町	16.8	☆5	球磨郡あさぎり町	170.1%
☆6	球磨郡相良村	249.3%	6	水俣市	11.5	☆6	球磨郡多良木町	159.9%
☆7	玉名郡和水町	177.5%	7	熊本市	11.2	☆7	上益城郡嘉島町	154.2%
☆8	球磨郡錦町	146.2%	8	菊池市	10.7	☆8	八代郡氷川町	149.4%
☆9	阿蘇郡西原村	142.7%	9	上益城郡甲佐町	10.4	☆9	玉名郡和水町	147.7%
☆10	菊池郡大津町	142.1%	10	菊池郡菊陽町	10.3	☆10	球磨郡湯前町	146.9%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

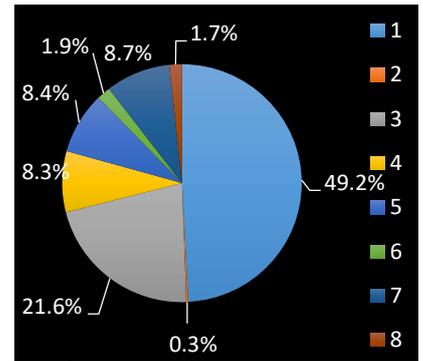
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

2022年度 **39PJ** 対前年度比 105.0%

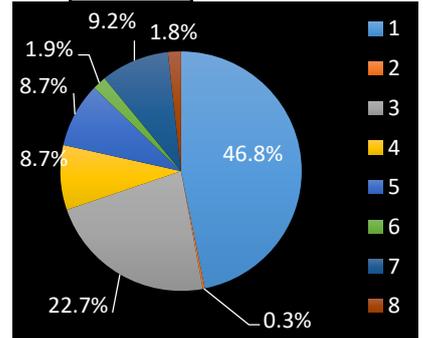


再生可能エネルギー供給状況

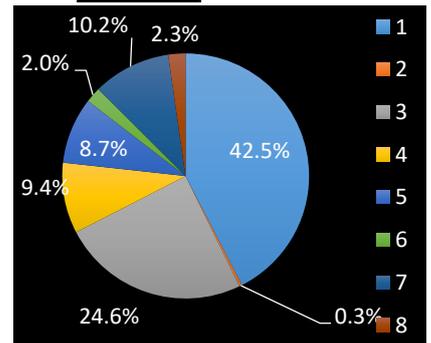
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 **37PJ** 対前年度比 109.5%



2020年度 **34PJ**



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19PJ	21	10	22	49.2%
2 風力発電	0PJ	32	32	33	0.3%
◎ 3 地熱発電	8PJ	1	1	1	21.6%
4 小水力発電	3PJ	16	14	14	8.3%
5 バイオマス発電	3PJ	15	5	13	8.4%
6 太陽熱利用	1PJ	22	8	22	1.9%
7 地熱利用	3PJ	1	1	1	8.7%
8.バイオマス熱利用	1PJ	34	24	33	1.7%
合計(供給量)	39PJ	16			
再生可能エネルギー自給率			55.6%	再エネ自給率ランク	2
食料自給率			41.3%	食料自給率ランク	22
供給密度(TJ/km ²)			6.143	供給密度ランク	14
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			70PJ		
区域面積			6,341km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1150.6%	1	玖珠郡九重町	34.6	☆1	竹田市	218.4%
☆2	速見郡日出町	139.4%	2	速見郡日出町	27.3	☆2	宇佐市	149.3%
☆3	豊後大野市	134.1%	3	別府市	26.6	☆3	玖珠郡九重町	146.6%
☆4	玖珠郡玖珠町	103.1%	4	大分市	12.7	☆4	豊後大野市	137.7%
5	由布市	95.7%	5	由布市	8.1	☆5	国東市	124.4%
6	杵築市	93.6%	6	杵築市	5.5	☆6	豊後高田市	102.6%
7	宇佐市	65.3%	7	宇佐市	4.8	7	玖珠郡玖珠町	99.1%
8	豊後高田市	61.3%	8	豊後大野市	4.6	8	杵築市	92.1%
9	国東市	56.8%	9	豊後高田市	4.1	9	由布市	71.6%
10	日田市	56.2%	10	日田市	3.8	10	佐伯市	55.7%

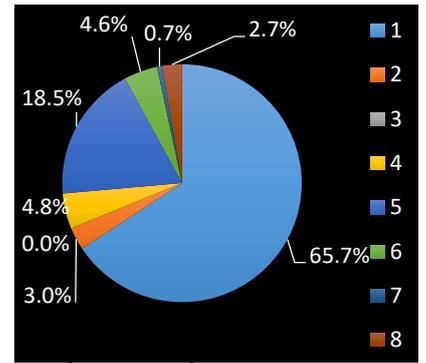
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮崎県

2022年度 31PJ 対前年度比 103.1%

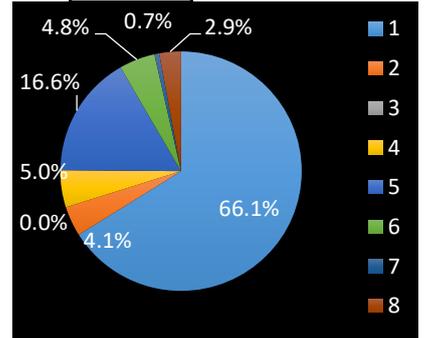


再生可能エネルギー供給状況

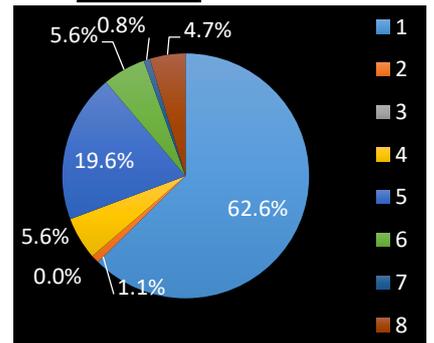
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 30PJ 対前年度比 118.5%



2020年度 25PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	20PJ	20	8	26	65.7%
2 風力発電	1PJ	20	20	26	3.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	2PJ	29	25	34	4.8%
○ 5 バイオマス発電	6PJ	6	1	9	18.5%
6 太陽熱利用	1PJ	5	1	10	4.6%
7 地熱利用	0PJ	27	21	30	0.7%
8.バイオマス熱利用	1PJ	28	22	31	2.7%
合計(供給量)	31PJ	23			
再生可能エネルギー自給率			47.4%	再エネ自給率ランク	6
食料自給率			52.1%	食料自給率ランク	17
供給密度(TJ/km ²)			4.011	供給密度ランク	25
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				65PJ	
区域面積				7,735km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	605.0%	1	児湯郡川南町	18.0	☆1	えびの市	177.6%
☆2	児湯郡都農町	167.7%	2	児湯郡高鍋町	12.3	☆2	東臼杵郡美郷町	156.1%
☆3	東諸県郡国富町	147.4%	3	東諸県郡国富町	10.8	☆3	児湯郡川南町	149.2%
☆4	児湯郡川南町	140.9%	4	宮崎市	10.7	☆4	串間市	127.1%
☆5	串間市	136.1%	5	日向市	10.2	☆5	児湯郡木城町	116.4%
☆6	西臼杵郡日之影町	103.6%	6	児湯郡都農町	8.9	☆6	西都市	112.4%
7	東臼杵郡門川町	91.6%	7	児湯郡新富町	8.1	☆7	西臼杵郡五ヶ瀬町	100.1%
8	西臼杵郡五ヶ瀬町	90.9%	8	都城市	6.8	8	児湯郡新富町	93.4%
9	日向市	89.7%	9	東臼杵郡門川町	6.1	9	西諸県郡高原町	90.6%
10	日南市	84.4%	10	日南市	5.0	10	児湯郡都農町	90.6%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

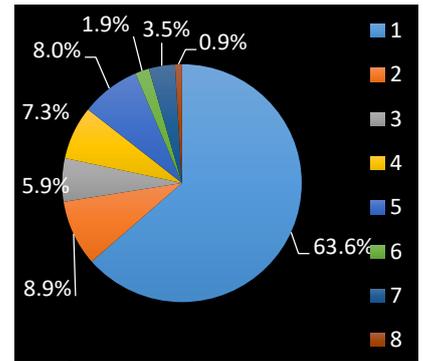
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

2022年度 48PJ 対前年度比 102.2%

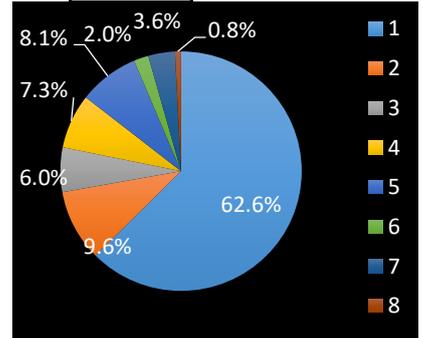


再生可能エネルギー供給状況

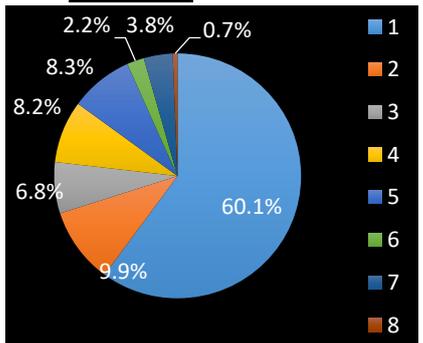
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 47PJ 対前年度比 112.5%



2020年度 42PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	30PJ	12	6	19	63.6%
○ 2 風力発電	4PJ	5	5	8	8.9%
○ 3 地熱発電	3PJ	3	4	3	5.9%
○ 4 小水力発電	3PJ	13	17	21	7.3%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	11	8	16	8.0%
○ 6 太陽熱利用	1PJ	13	9	26	1.9%
○ 7 地熱利用	2PJ	4	4	4	3.5%
○ 8. バイオマス熱利用	0PJ	38	40	41	0.9%
合計(供給量)	48PJ	10			
再生可能エネルギー自給率			51.2%	再エネ自給率ランク 4	
食料自給率			73.8%	食料自給率ランク 9	
供給密度(TJ/km ²)			5.200	供給密度ランク 19	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				93PJ	
区域面積				9,187km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	肝属郡南大隅町	217.3%	1	指宿市	17.3	☆1	熊毛郡中種子町	886.9%
☆2	始良郡湧水町	212.4%	2	曾於郡大崎町	16.4	☆2	大島郡天城町	697.2%
☆3	曾於郡大崎町	152.5%	3	霧島市	13.0	☆3	大島郡喜界町	696.6%
☆4	出水郡長島町	132.8%	4	枕崎市	11.2	☆4	大島郡伊仙町	579.2%
☆5	肝属郡肝付町	131.5%	5	始良郡湧水町	9.5	☆5	大島郡知名町	470.4%
☆6	薩摩郡さつま町	129.3%	6	鹿児島市	9.3	☆6	大島郡和泊町	449.5%
☆7	南九州市	128.5%	7	出水郡長島町	8.5	☆7	出水郡長島町	390.6%
☆8	南さつま市	121.9%	8	南九州市	7.7	☆8	熊毛郡南種子町	376.9%
☆9	霧島市	113.4%	9	鹿屋市	7.4	☆9	大島郡徳之島町	333.7%
10	指宿市	94.8%	10	南さつま市	7.4	☆10	西之表市	327.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

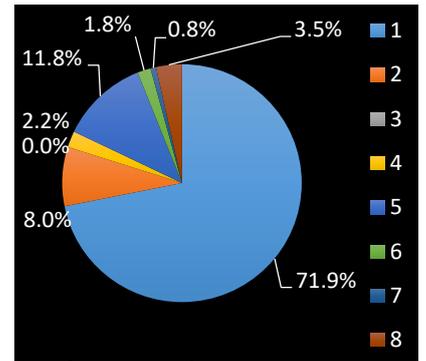
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

沖縄県

2022年度 6PJ 対前年度比 89.4%

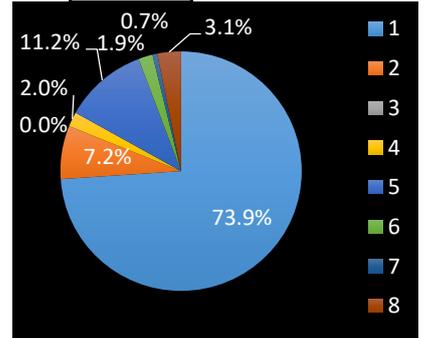


再生可能エネルギー供給状況

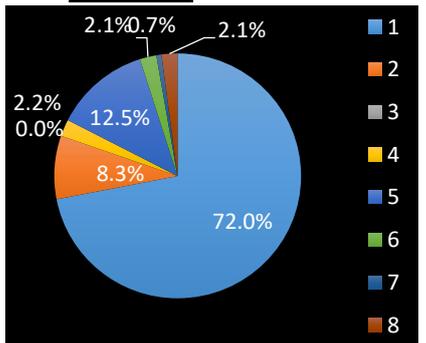
2023年3月末の設備状況をもとに2022年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2021年度 7PJ 対前年度比 112.7%



2020年度 6PJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	43	39	34	71.9%
2 風力発電	0PJ	29	23	18	8.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
4 小水力発電	0PJ	43	41	42	2.2%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	42	43	26	11.8%
6 太陽熱利用	0PJ	42	40	36	1.8%
7 地熱利用	0PJ	39	32	33	0.8%
8.バイオマス熱利用	0PJ	44	44	35	3.5%
合計(供給量)	6PJ	47			
再生可能エネルギー自給率			8.3%	再エネ自給率ランク	43
食料自給率			32.1%	食料自給率ランク	29
供給密度(TJ/km ²)			2,566	供給密度ランク	39
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			70PJ		
区域面積			2,281km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	149.7%	1	島尻郡南風原町	50.1	☆1	島尻郡南大東村	3947.2%
2	国頭郡大宜味村	88.6%	2	沖縄市	11.9	☆2	島尻郡北大東村	2344.0%
3	国頭郡伊江村	55.0%	3	宜野湾市	10.7	☆3	宮古郡多良間村	1144.0%
4	国頭郡今帰仁村	51.1%	4	糸満市	7.9	☆4	島尻郡伊是名村	1070.6%
5	国頭郡国頭村	34.0%	5	うるま市	7.9	☆5	島尻郡久米島町	481.0%
6	国頭郡宜野座村	33.6%	6	浦添市	7.7	☆6	島尻郡伊平屋村	344.0%
7	宮古郡多良間村	30.1%	7	豊見城市	7.1	☆7	宮古島市	334.6%
8	国頭郡本部町	28.6%	8	島尻郡与那原町	6.4	☆8	八重山郡竹富町	315.0%
9	八重山郡与那国町	27.4%	9	那覇市	6.2	☆9	島尻郡粟国村	151.2%
10	島尻郡南風原町	26.8%	10	島尻郡八重瀬町	5.5	☆10	八重山郡与那国町	125.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。